

薬局・薬に関する 困りごとアンケート

- 実施期間
令和5年7月27日～9月3日
- アンケートの依頼方法
垂水区医療介護サポートセンターよりFAXにて回答依頼
(送信先：垂水区内のあんしんすこやかセンター、居宅介護支援事業所、通所介護事業所、訪問介護事業所、訪問看護ステーション、老健、特養、有料老人ホーム、グループホーム、小規模多機能、歯科医院、リハ三師会、病院地域連携室)

エナガの会ホームページ、Facebook、メールマガジン、ラインにて回答依頼

- アンケートの回収方法
Google Formを利用したWEB上での回答

- 有効回答数
41

アンケート内容

①基本情報

年齢・職種・所属・薬にかかわる業務の有無

②薬剤師が基本的には病名を知らされず、処方箋だけで調剤をしていることを知っていますか？（処方箋に病名の記載はありません。処方内容から病名、病状を推察しています）

③利用者様の薬に関して困ったことや疑問点がありますか？

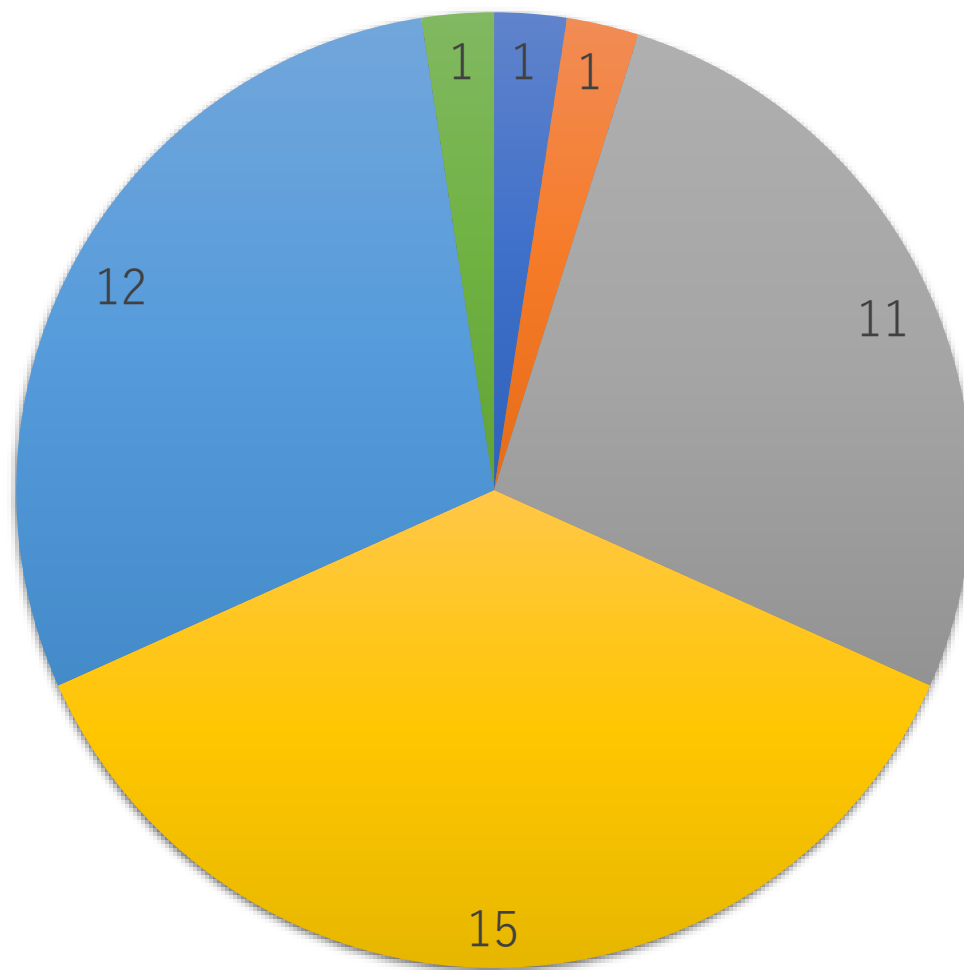
ある場合は具体的な内容をご記入ください。

④利用者様の薬についてご自身の一番当てはまるところを選択してください。

⑤あなたが以下の内容について、利用者様やご家族様が薬について困っているということを、聞いたことがあるかそれぞれの項目で選択してください。

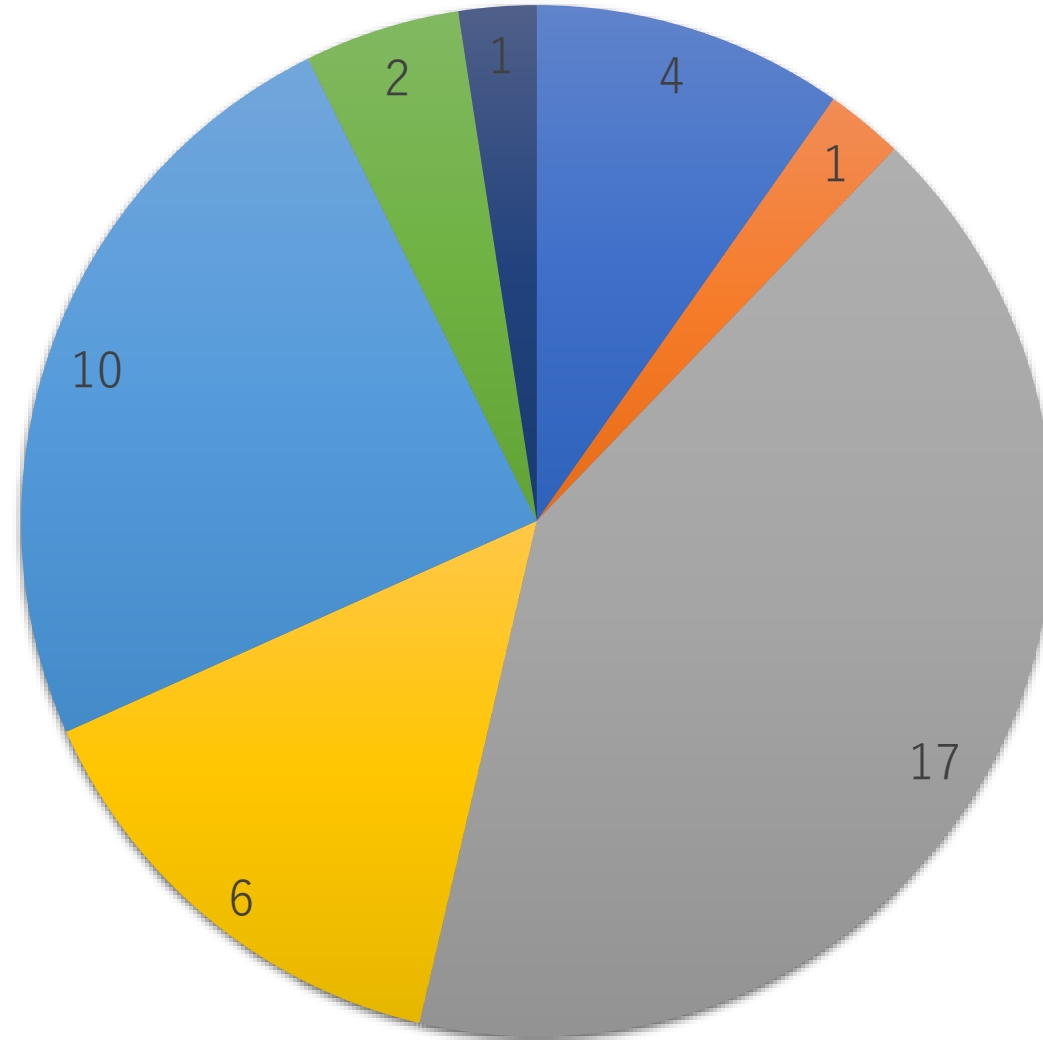
- 1 今の薬がなぜ使われているのかわからない
- 2 薬の副作用が出ているのではないかと気になることがある
- 3 薬の内容が適切でない（あっていない、効果がない）と思うことがある
- 4 薬の種類が多すぎるのではないかとと思うことがある
- 5 お薬がたくさん余っている
- 6 薬や本人のことを薬剤師から聞かれるが、何を答えたらいいかわからない
- 7 薬の質問があるとき、どこの薬局にしたらいいのかわからない
- 8 薬局・薬剤師に連絡がしにくい
- 9 お薬手帳が見にくい・わかりにくい
- 10 利用者様がお薬手帳を持ってこない、もしくは持っていない
- 11 薬剤情報提供書が見にくい・わかりにくい
- 12 利用者様が薬剤情報提供書を持ってこない、もしくはない
- 13 薬局に連絡したくても営業時間外などでつながらない
- 14 薬剤師にサービス担当者会議などに参加してほしいが参加してもらえない
- 15 薬をなかなか飲んでくれない
- 16 薬を飲んでもらうのに手間・時間がかかりすぎる
- 17 薬が取り出しにくい・こぼれやすい
- 18 塗り薬の量や塗り方がわからない
- 19 頓服薬を飲んでもらっていいのかわからない
- 20 貼り薬がうまく貼れない・はがれてくる
- 21 座薬が入れにくい
- 22 目薬がうまく使えない

年齡



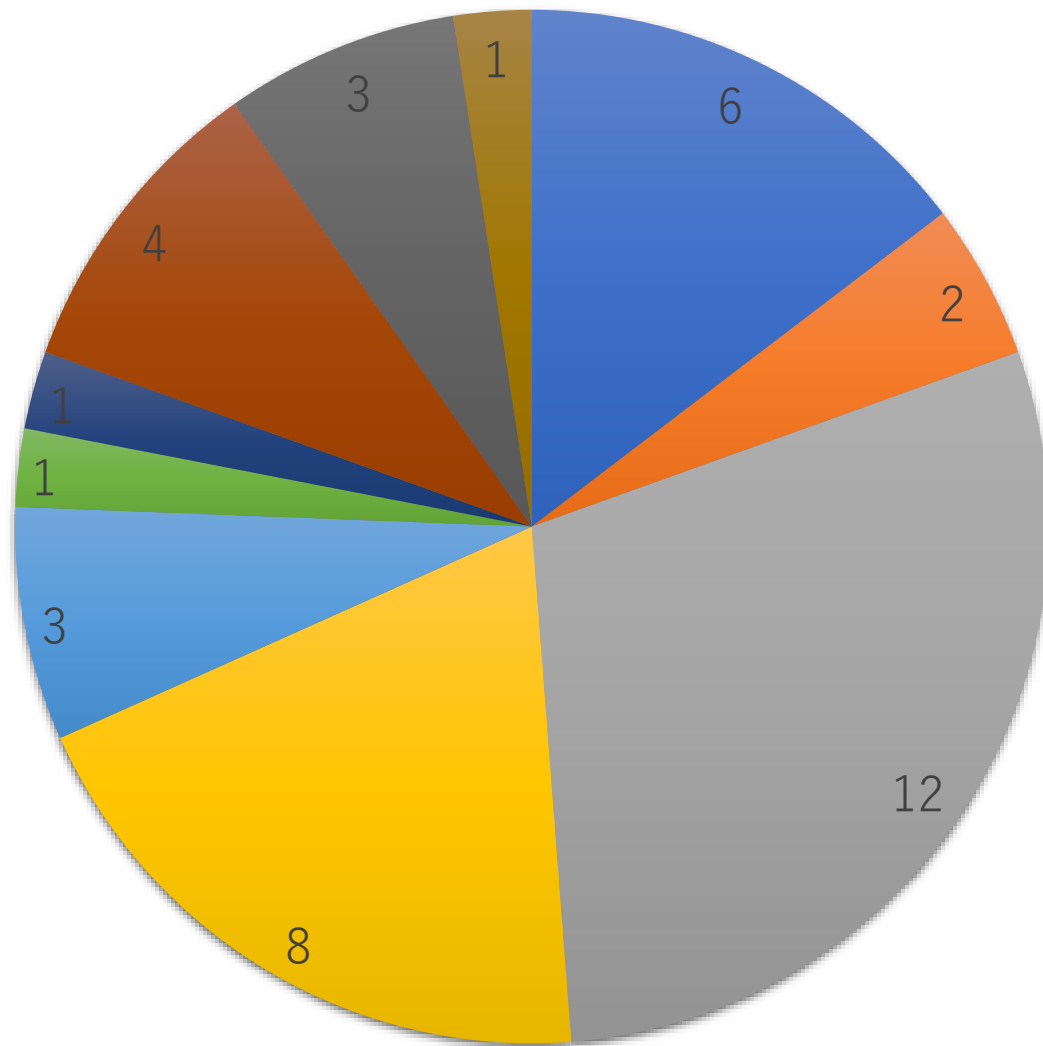
- 20代
- 30代
- 40代
- 50代
- 60代
- 70代

職種



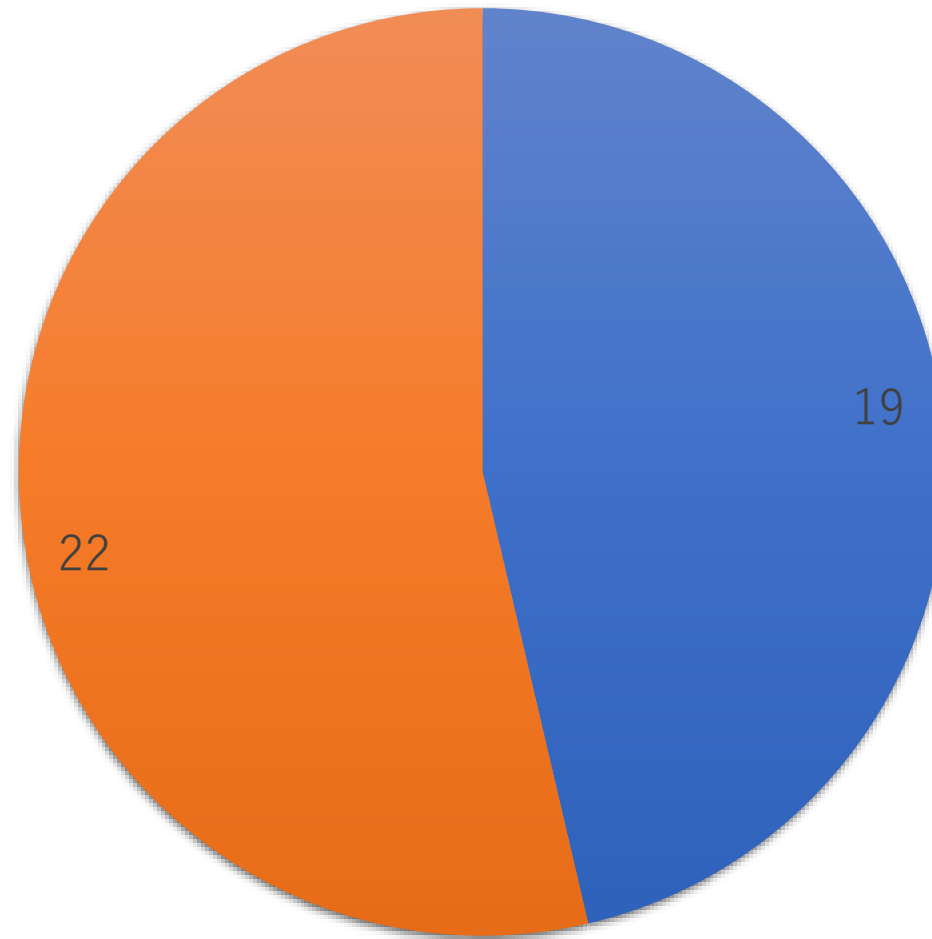
- 医師
- 歯科医師
- 看護師
- 相談員・ソーシャルワーカー
- 介護支援専門員
- 介護士・介護職員
- 福祉用具専門相談員

所属



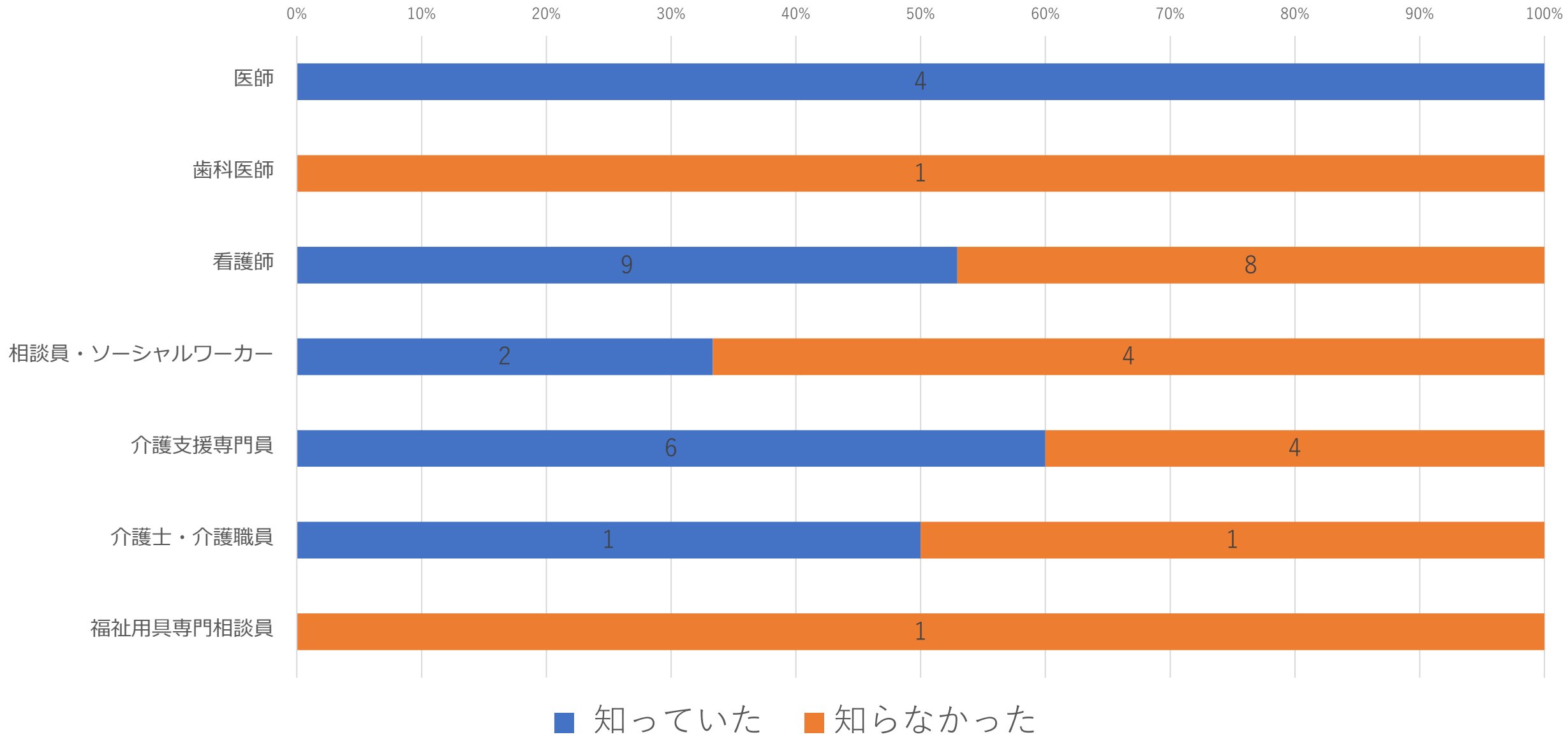
- 診療所・歯科医院
- 病院
- 訪問看護、訪問リハビリテーション
- 居宅介護支援事業所
- 通所介護
- 小規模多機能型居宅介護
- 福祉用具貸与事業所
- 施設系サービス（入所）
- 地域包括支援センター
- 認知症初期集中支援チーム

薬剤師が基本的には病名を知らされず、処方箋だけで調剤をしていることを知っていますか？（処方箋に病名の記載はありません。処方内容から病名、病状を推察しています）

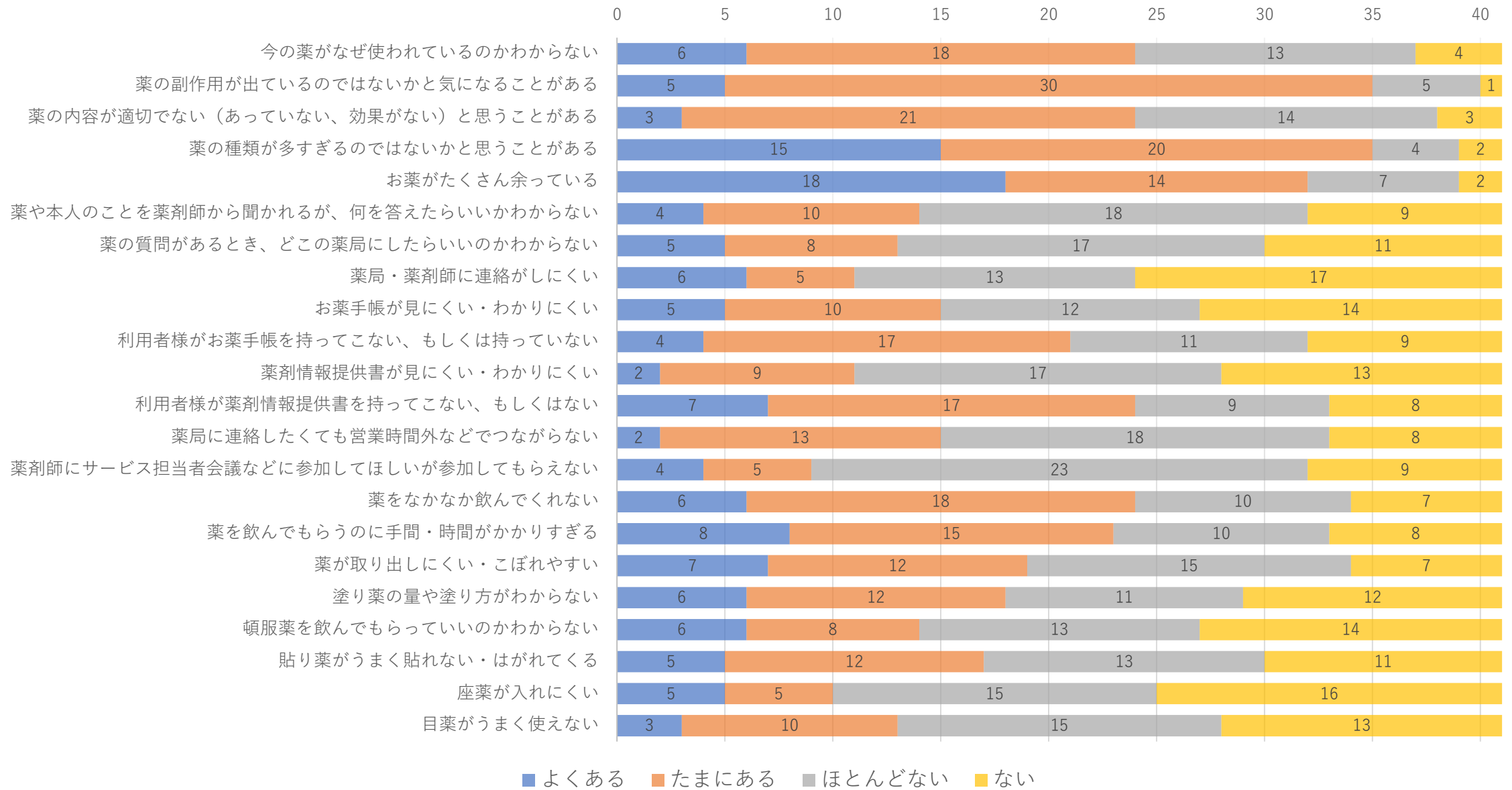


■ 知らなかった ■ 知っていた

薬剤師が基本的には病名を知らされず、処方箋だけで調剤をしていることを知っていますか

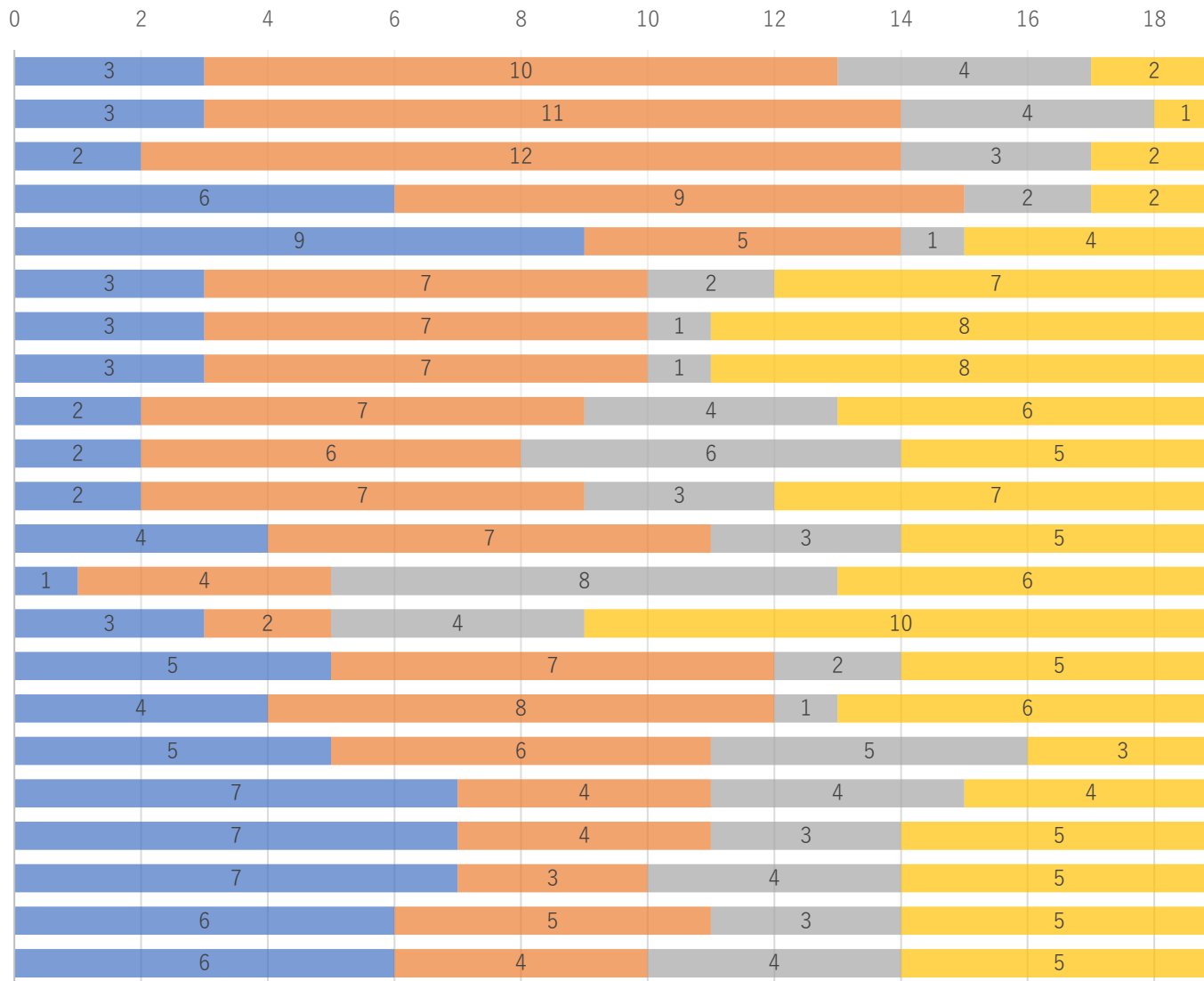


利用者様の薬についてご自身の一番当てはまるところを選択してください



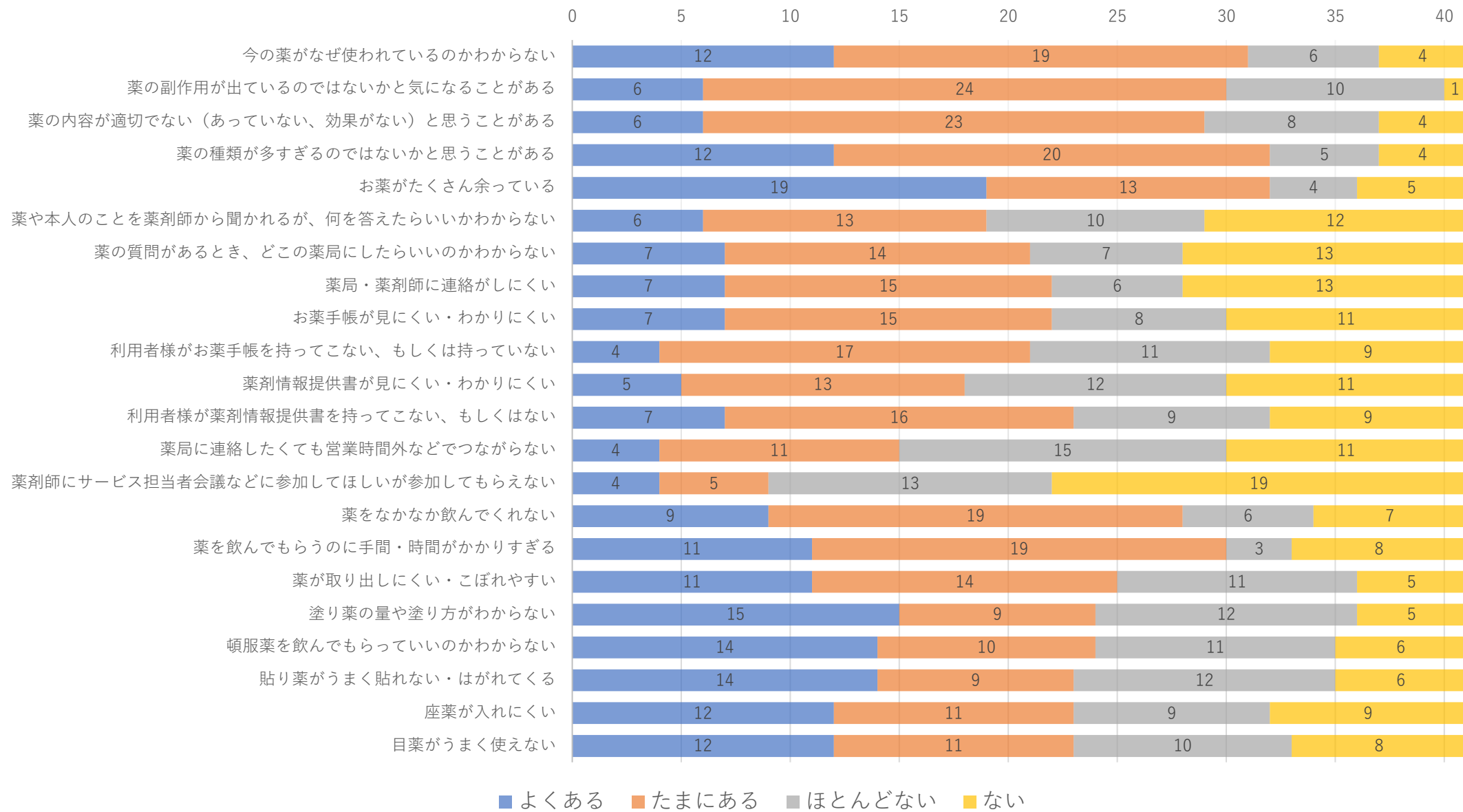
医師
歯科医師
看護師除く

利用者様の薬についてご自身の一番当てはまるところを選択してください

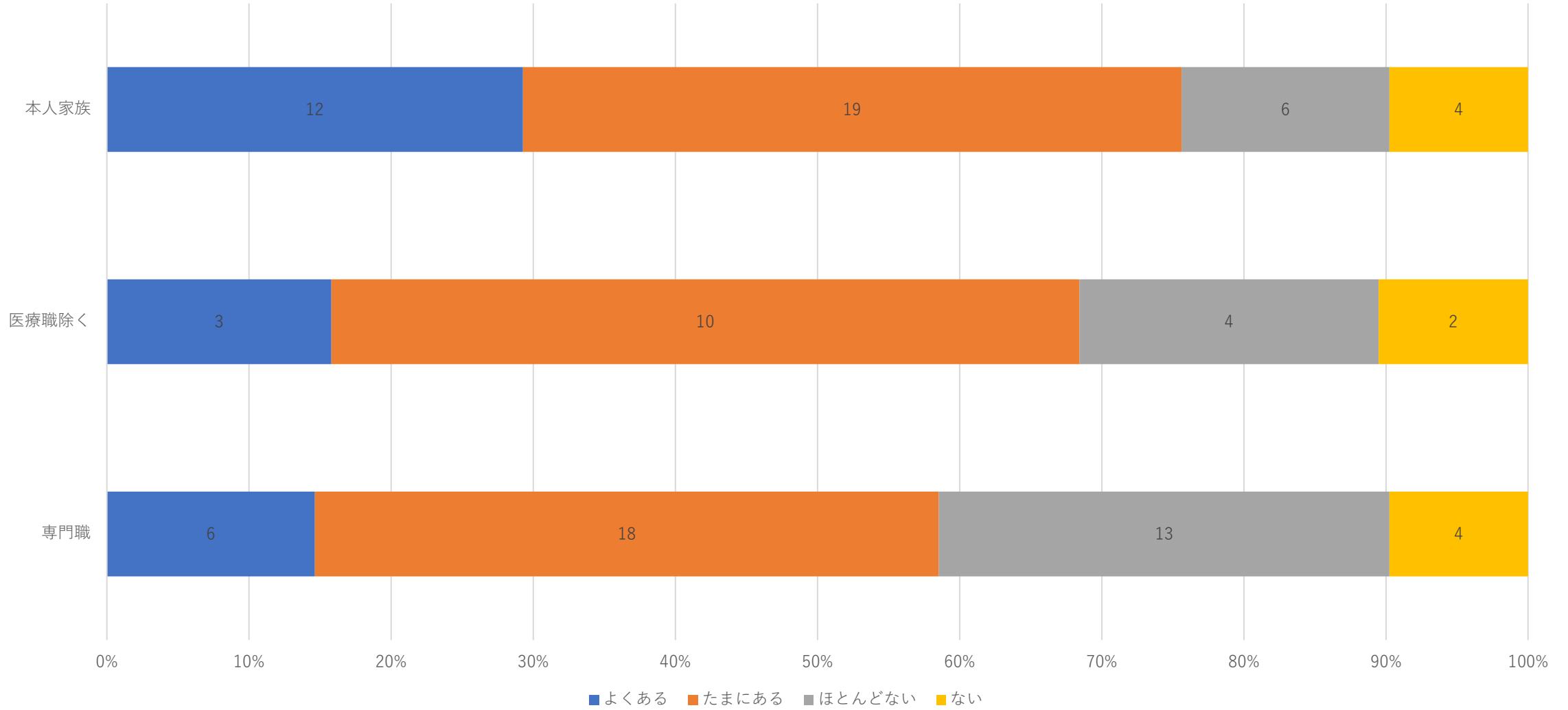


■ よくある ■ たまにある ■ ほとんどない ■ ない

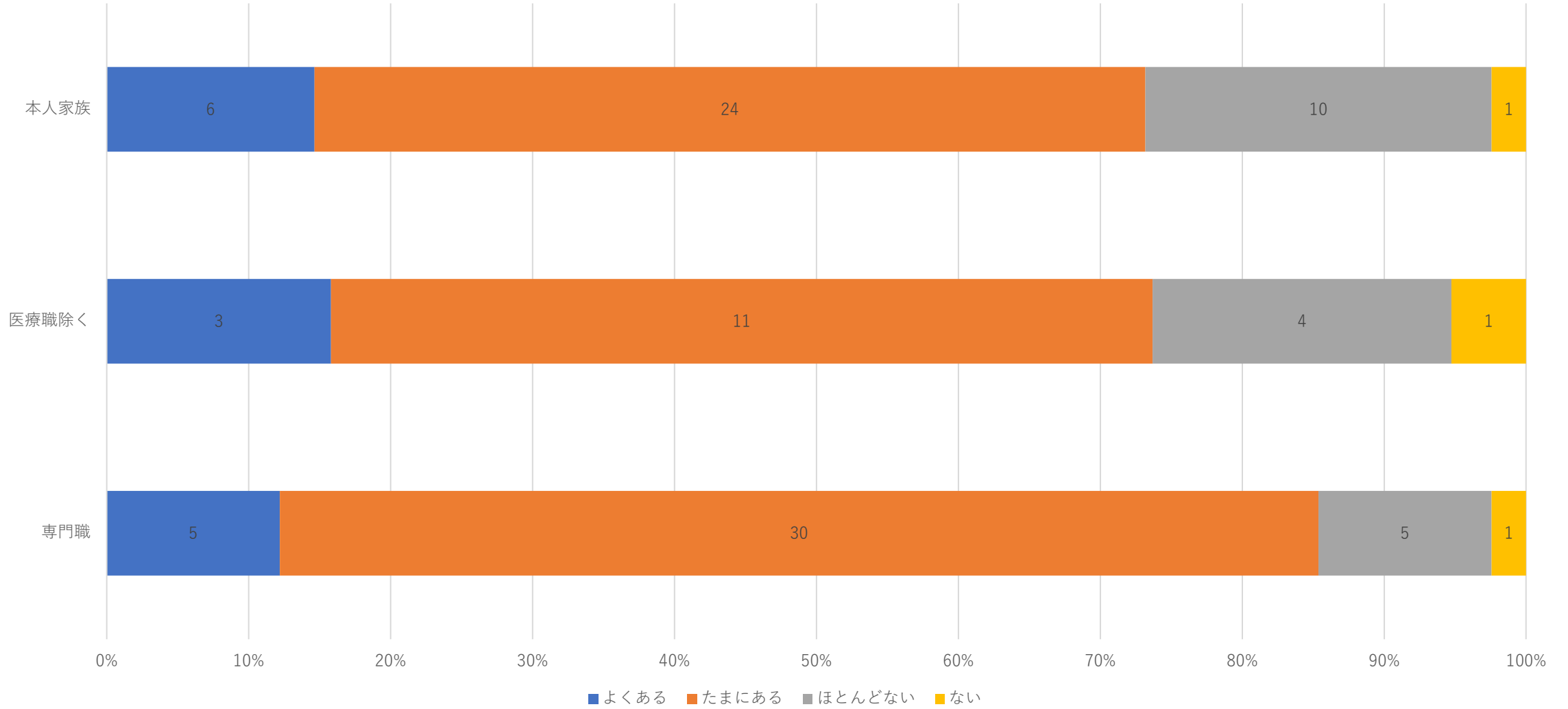
利用者様やご家族様が薬について困っているということを聞いたことがあるか



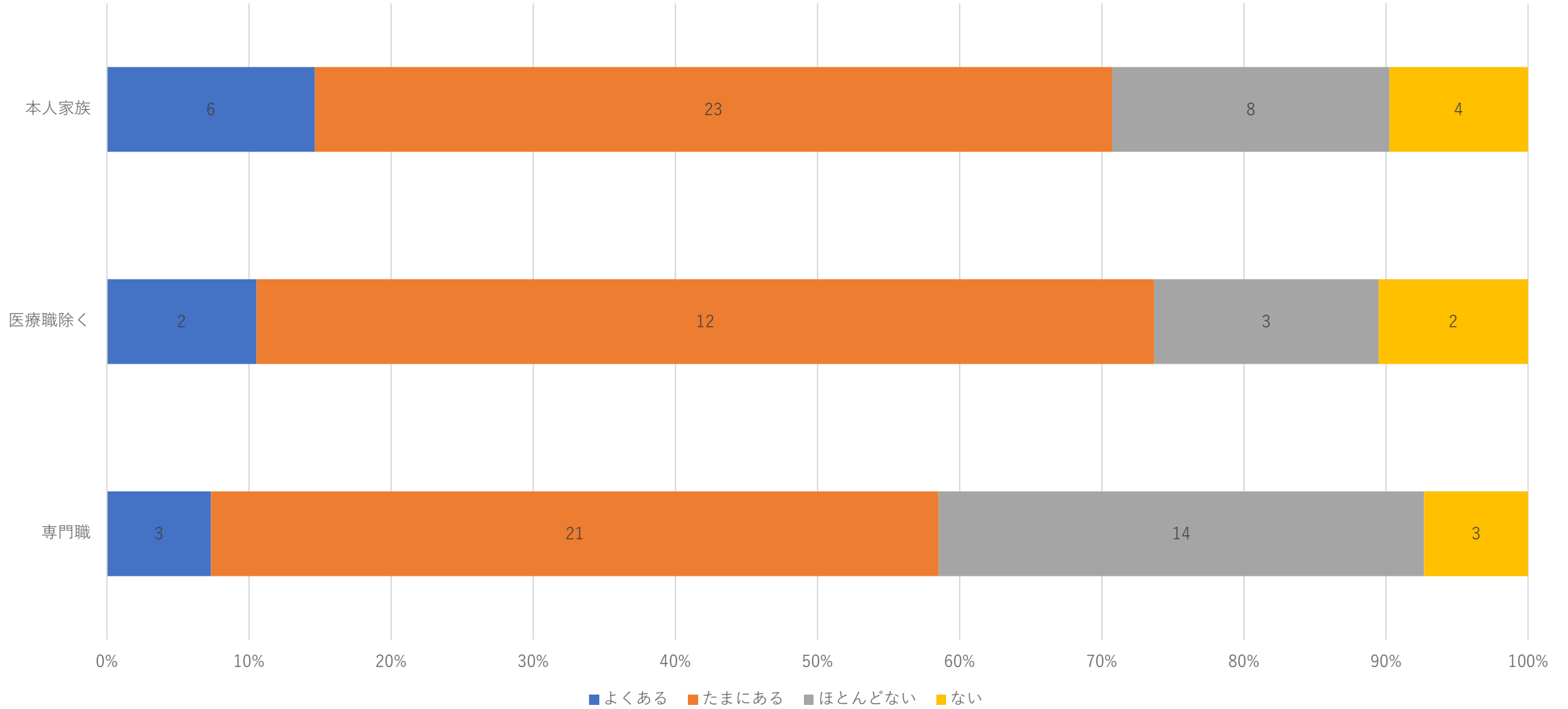
今の薬がなぜ使われているのかわからない



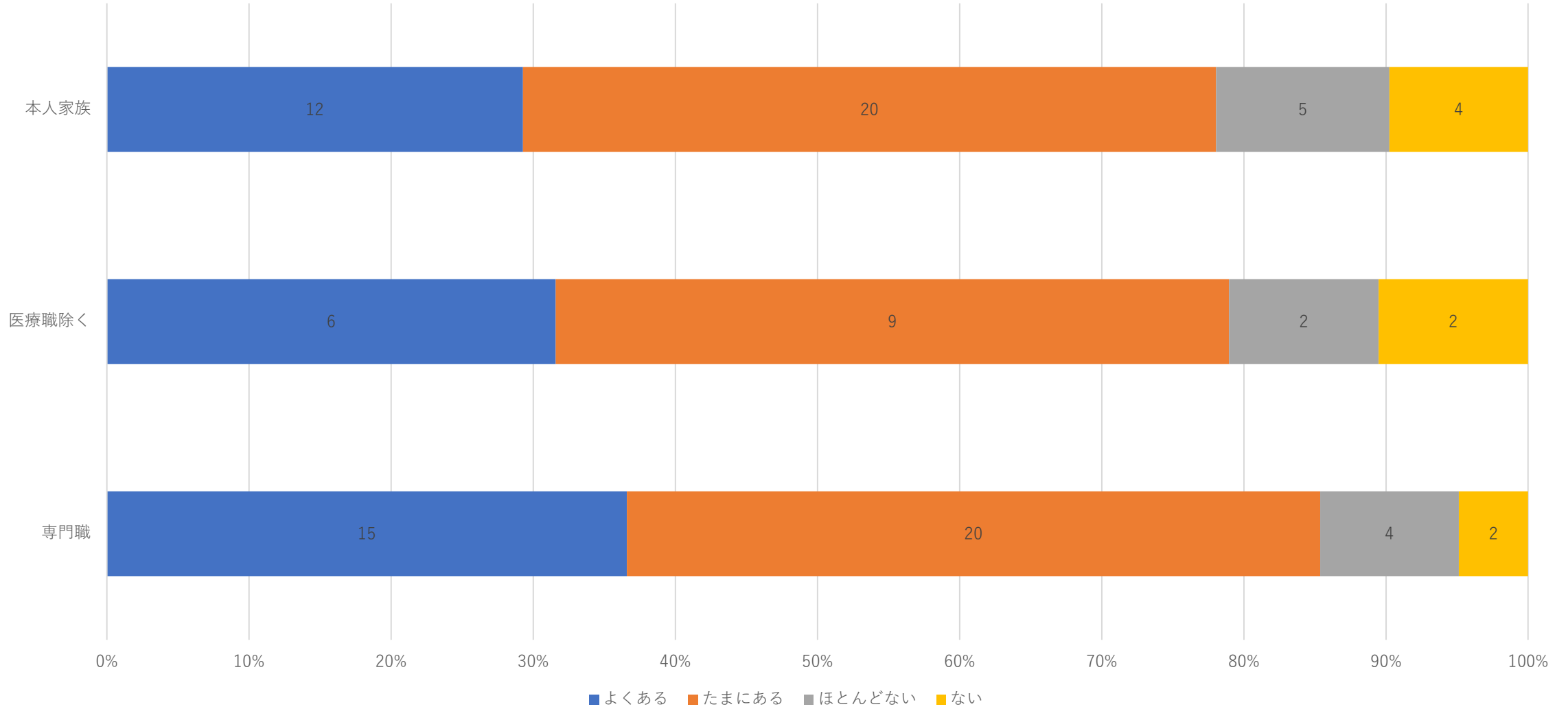
薬の副作用が出ているのではないかと気になることがある



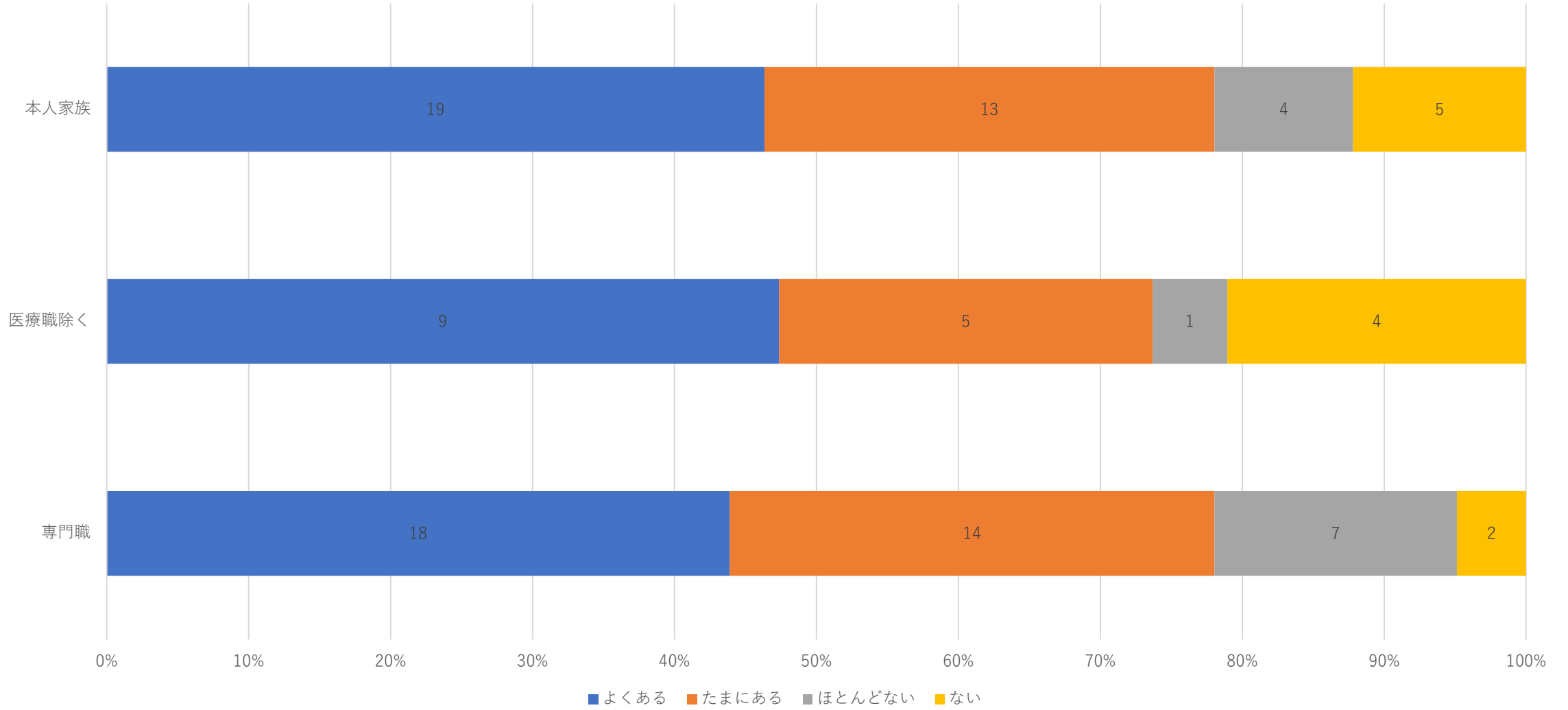
薬の内容が適切でない（あっていない、効果がない）と思うことがある



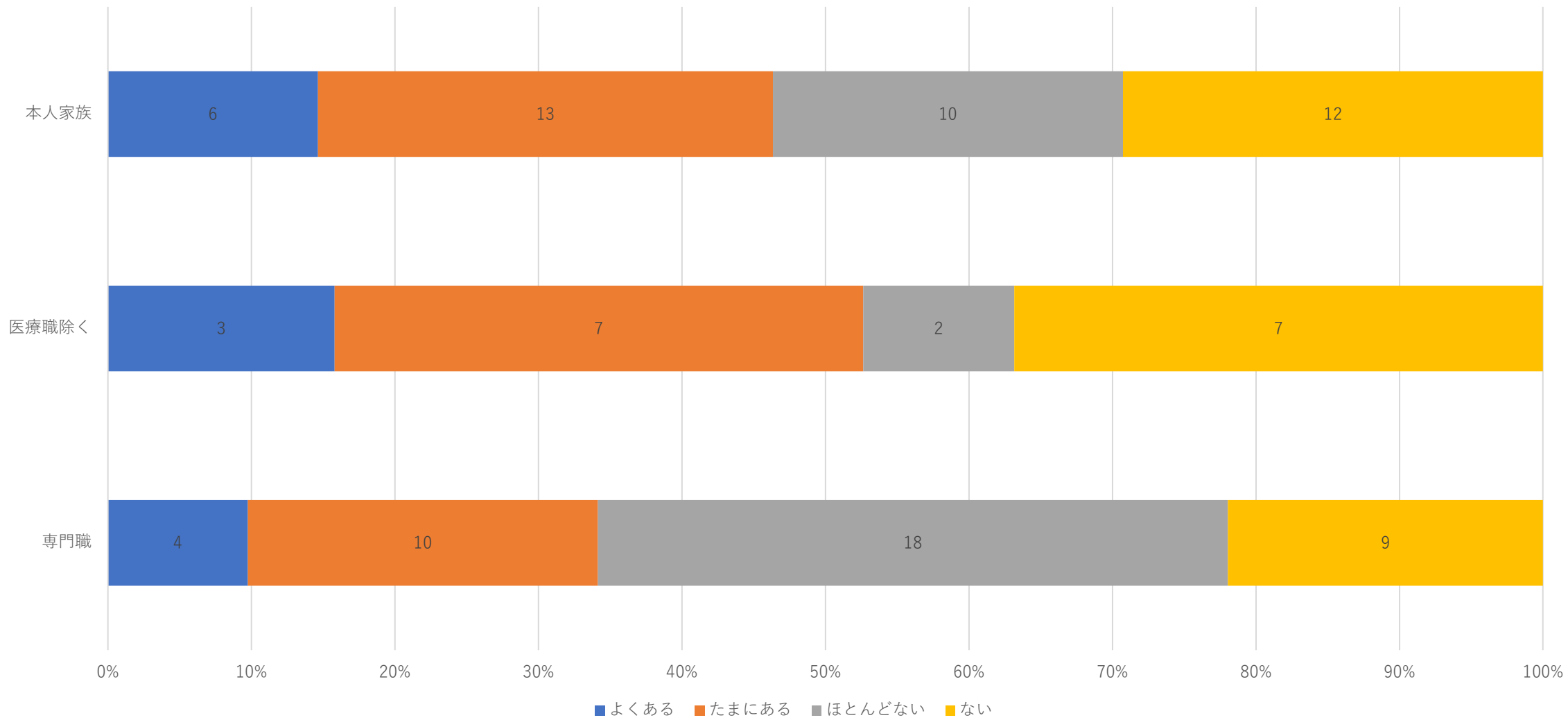
薬の種類が多すぎるのではないかと思うことがある



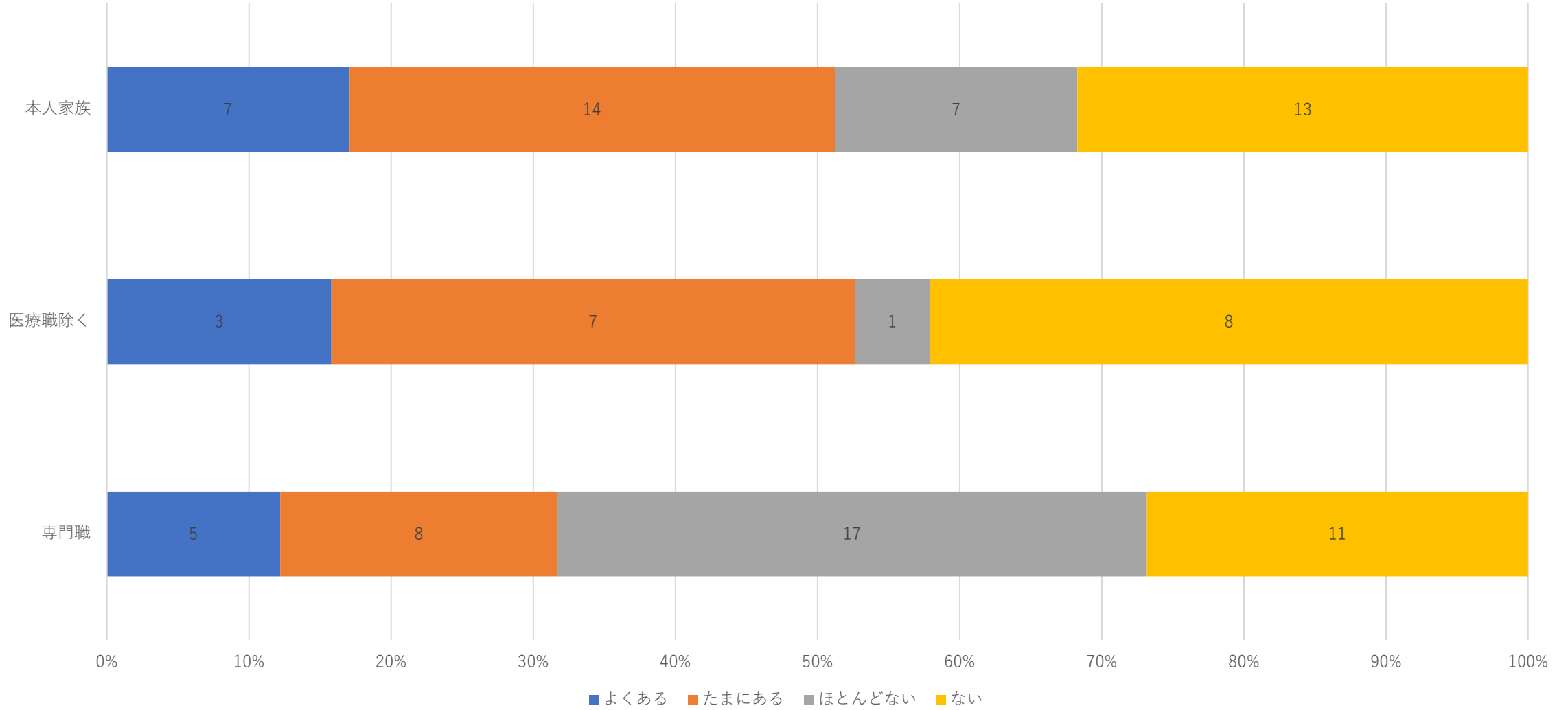
お薬がたくさん余っている



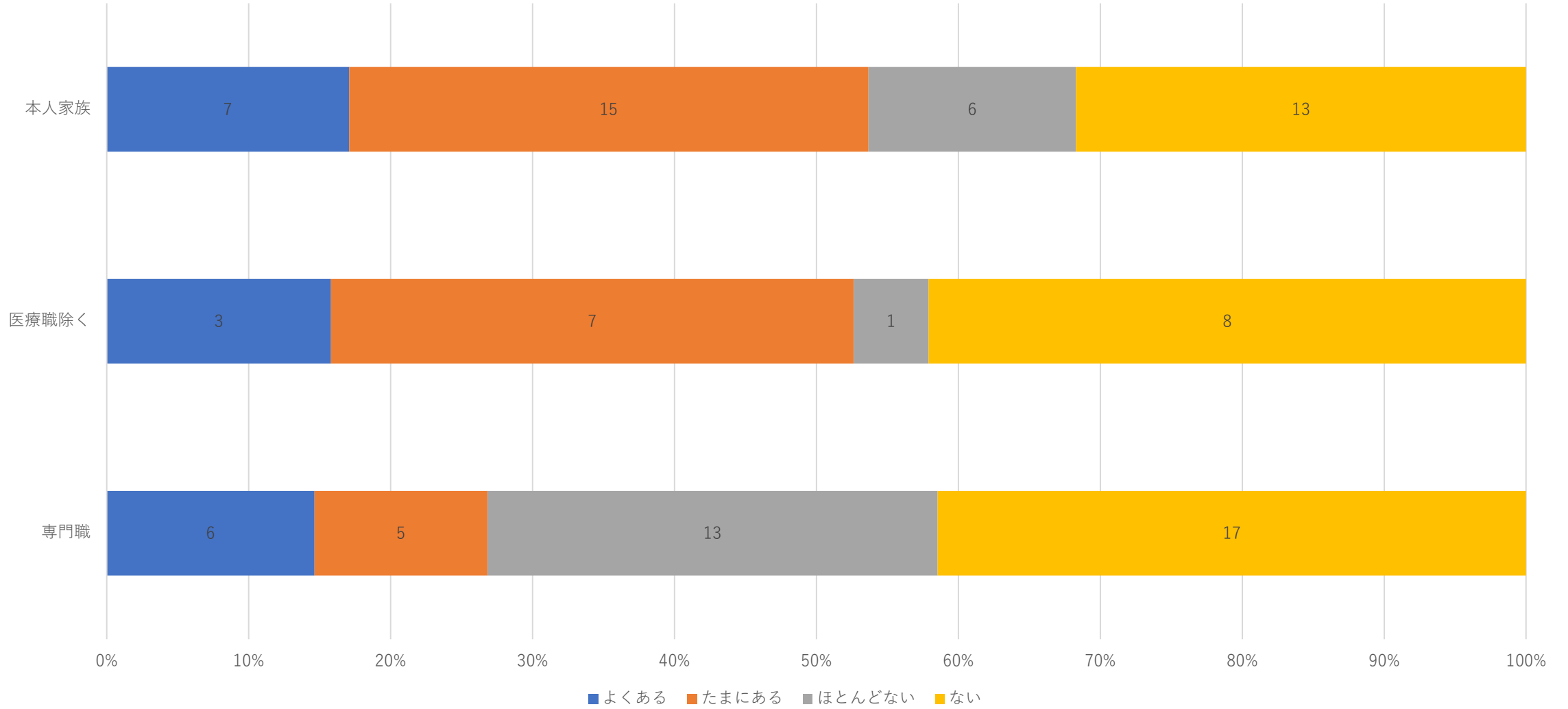
薬や本人のことを薬剤師から聞かれるが、何を答えたらいいかわからない



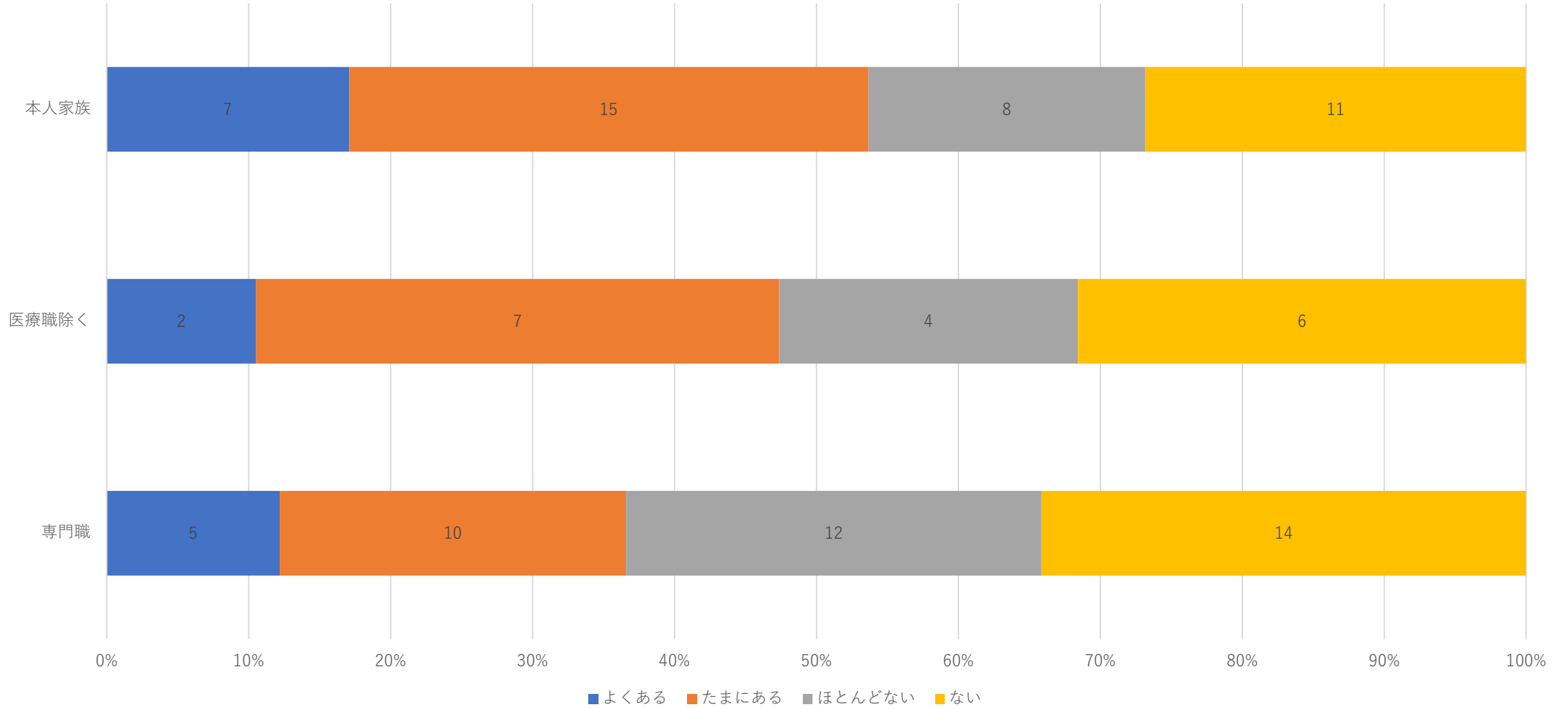
薬の質問があるとき、どこの薬局にしたらいいのかわからない



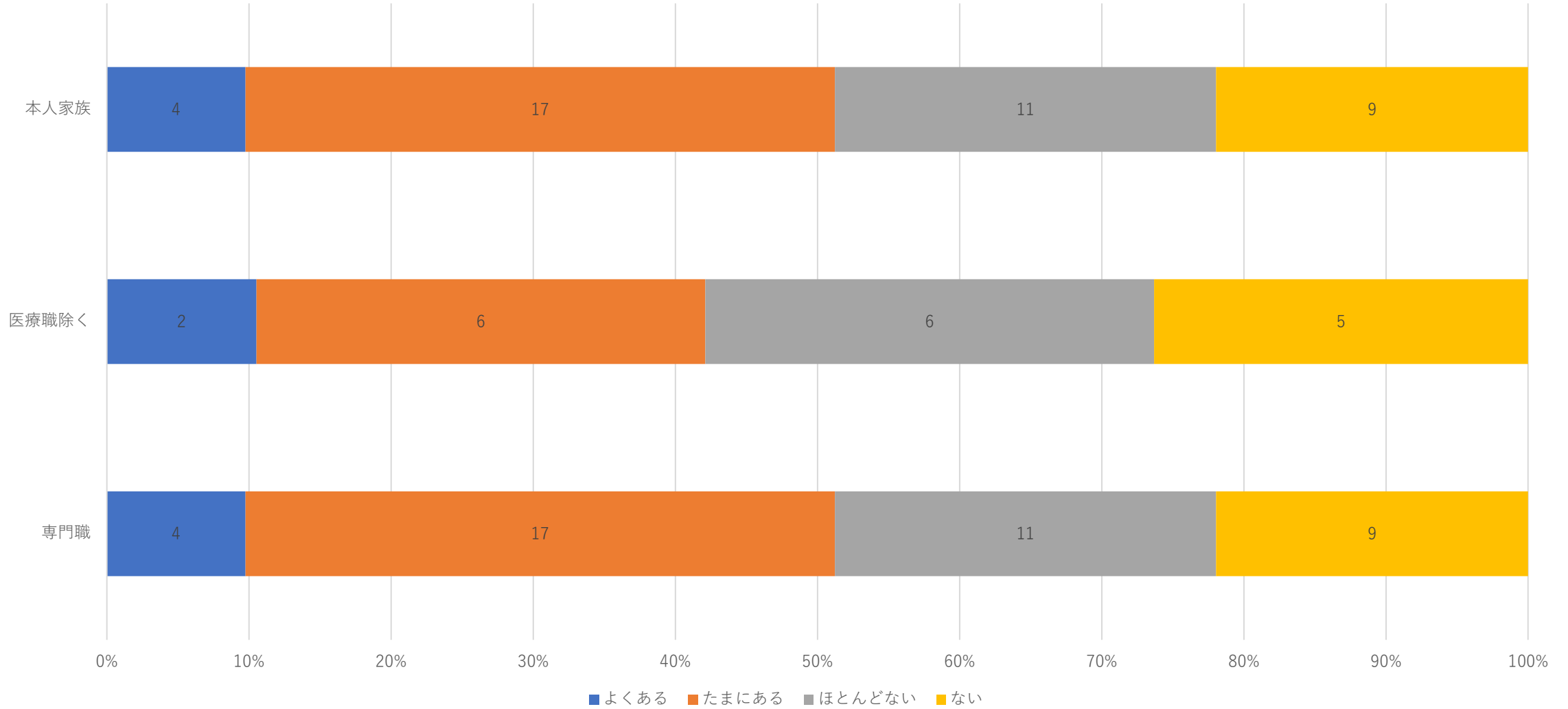
薬局・薬剤師に連絡がしにくい



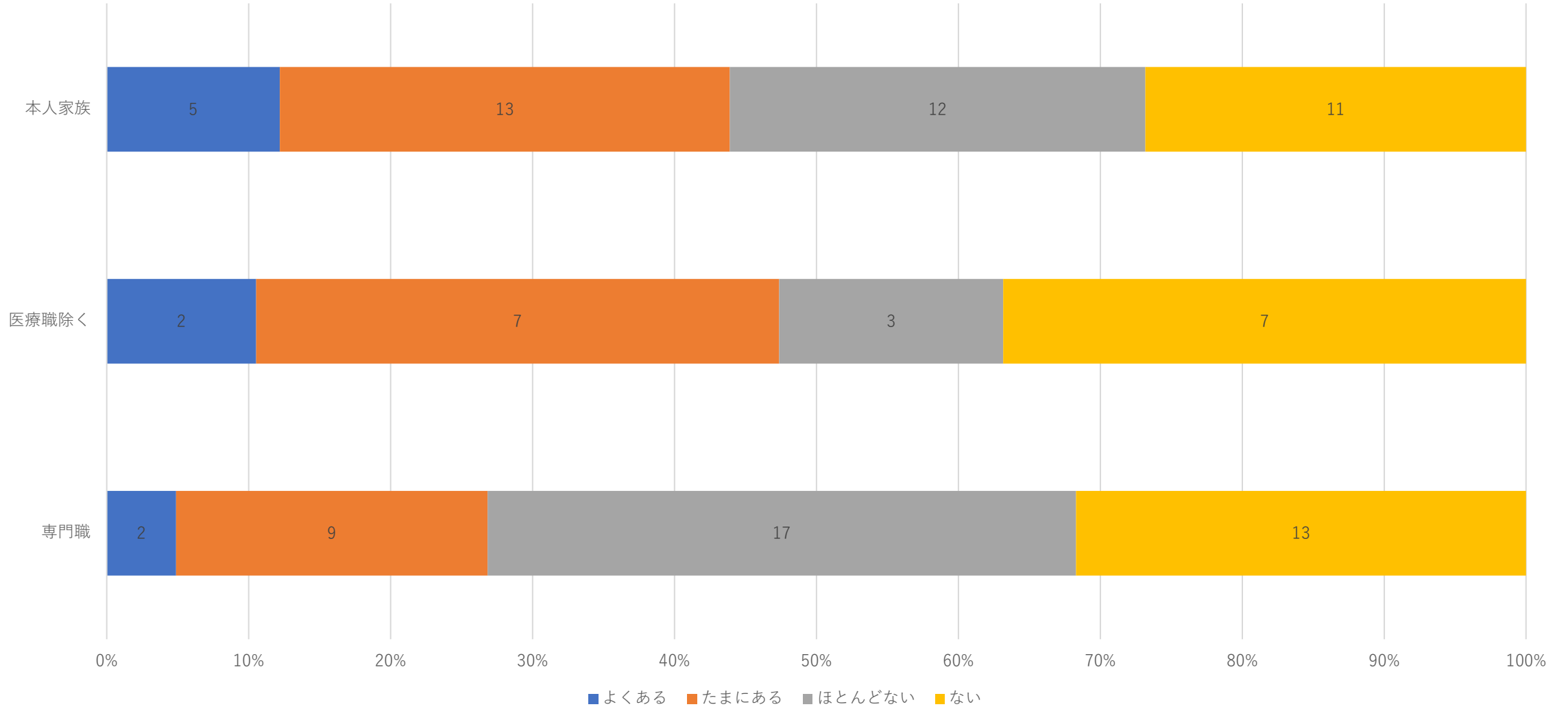
お薬手帳が見にくい・わかりにくい



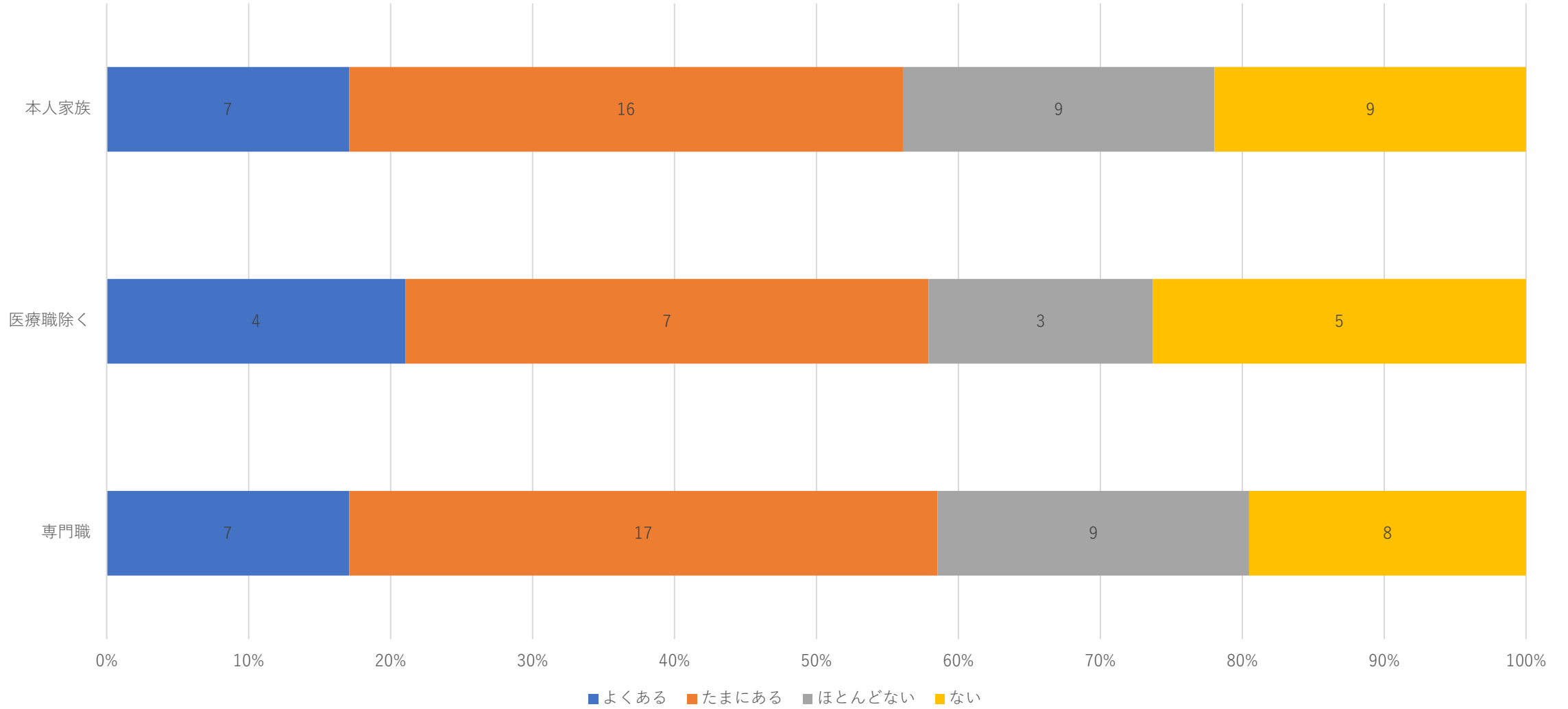
利用者様がお薬手帳を持ってこない、もしくは持っていない



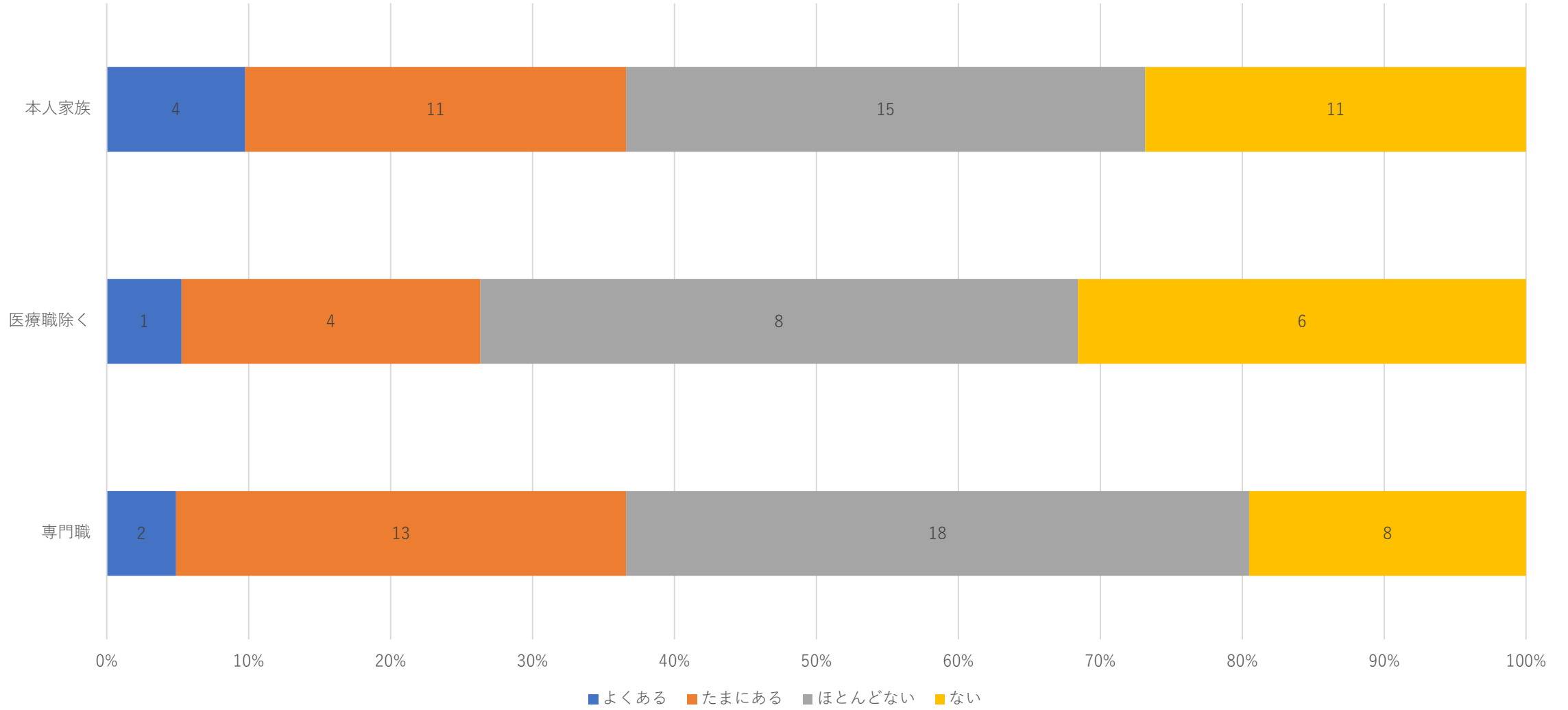
薬剤情報提供書が見にくい・わかりにくい



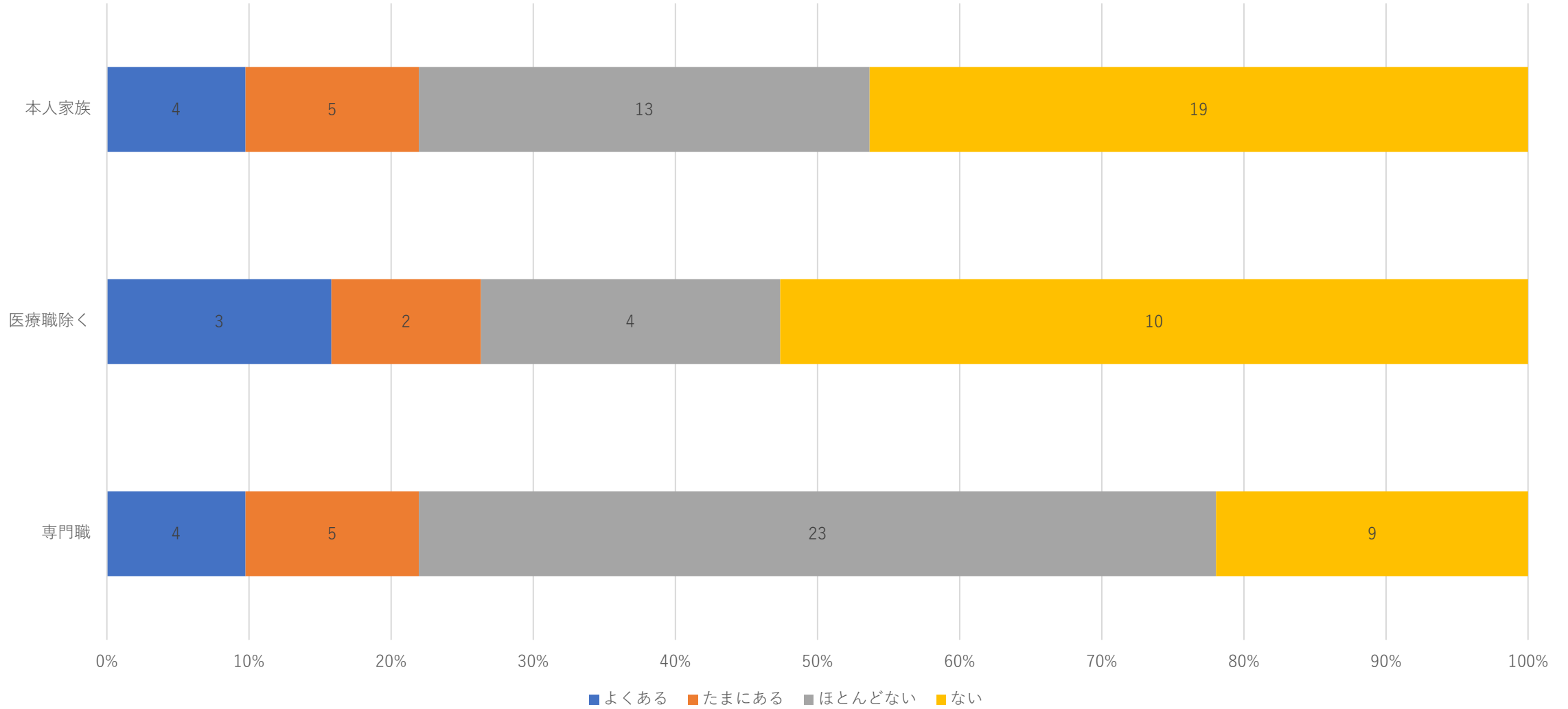
利用者が薬剤情報提供書を持ってこない、もしくはない



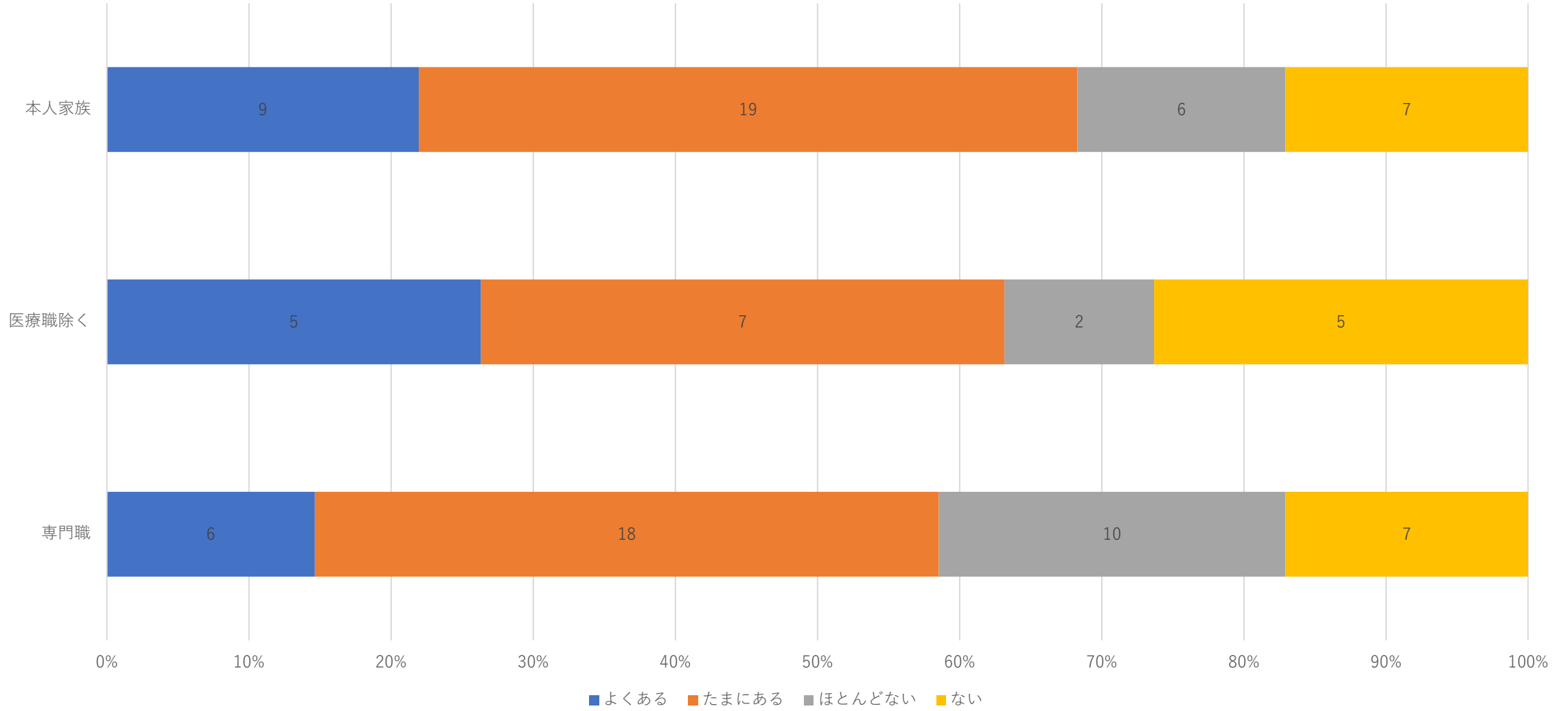
薬局に連絡したくても営業時間外などでつながらない



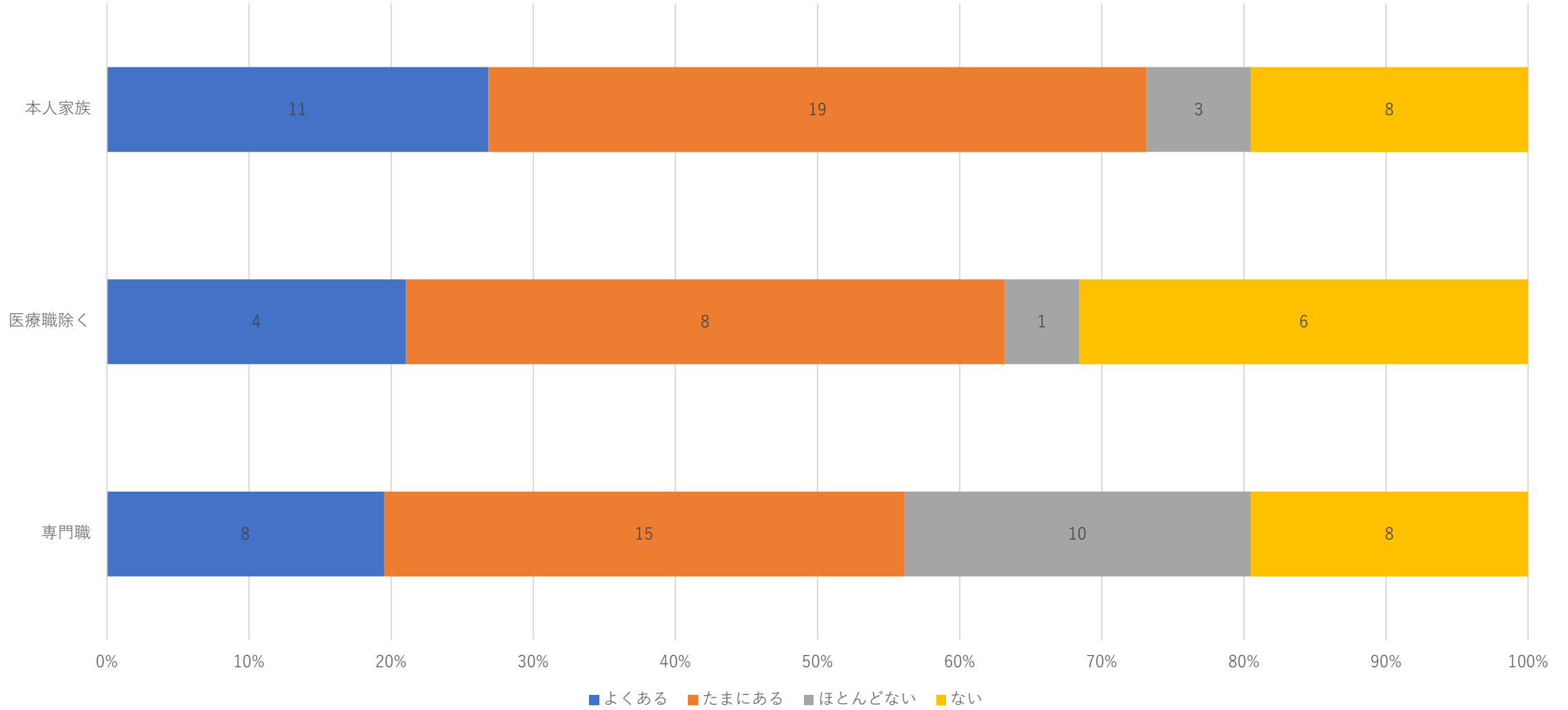
薬剤師にサービス担当者会議などに参加してほしいが参加してもらえない



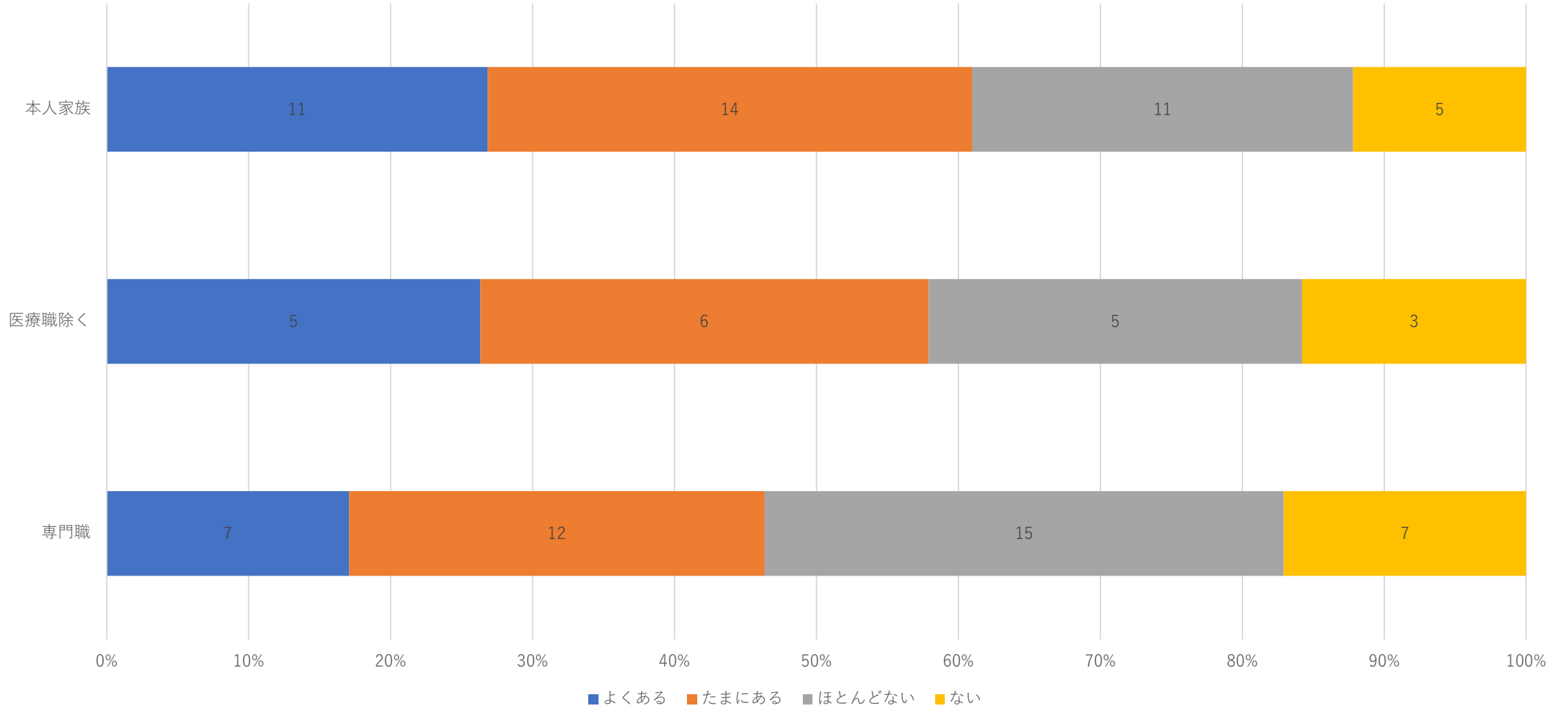
薬をなかなか飲んでくれない



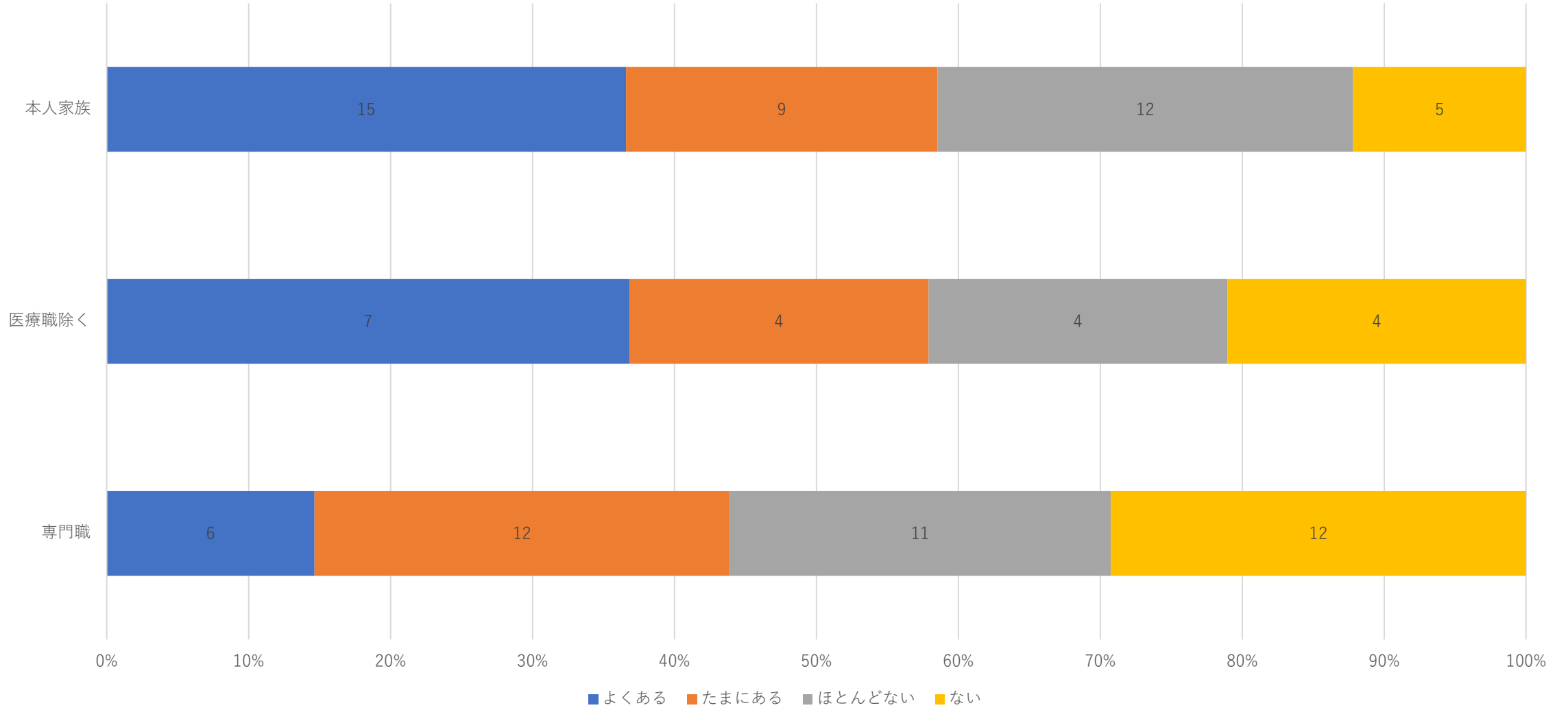
薬を飲んでもらうのに手間・時間がかかりすぎる



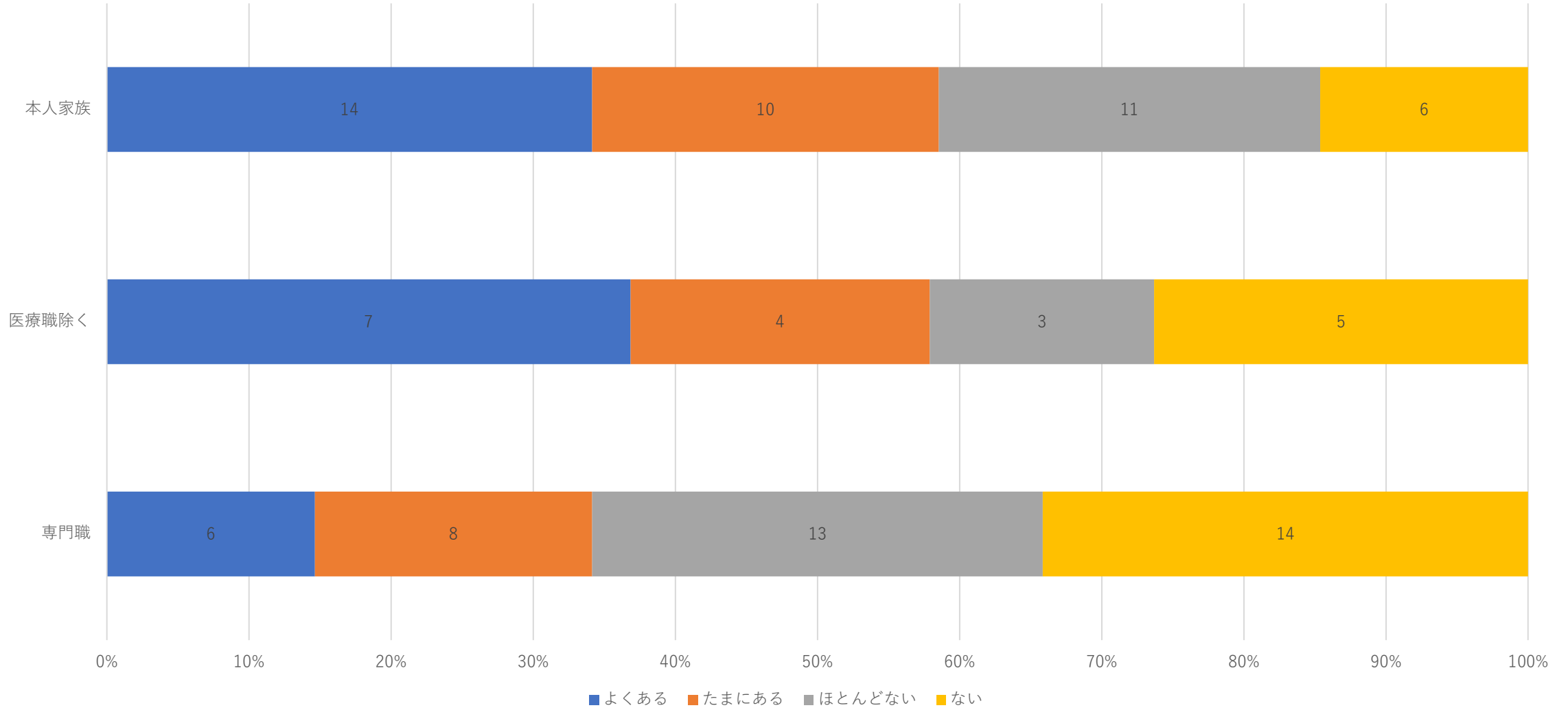
薬が取り出しにくい・こぼれやすい



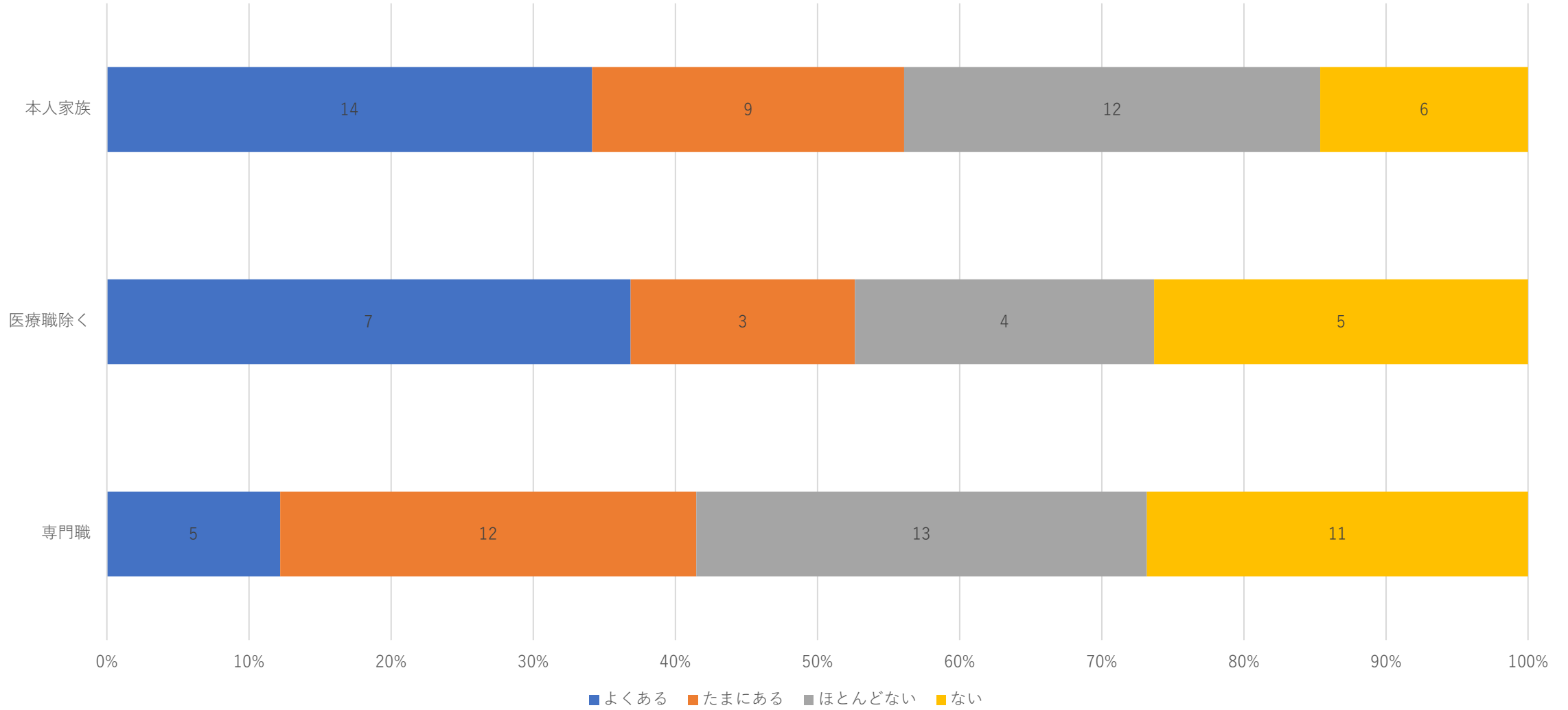
塗り薬の量や塗り方がわからない



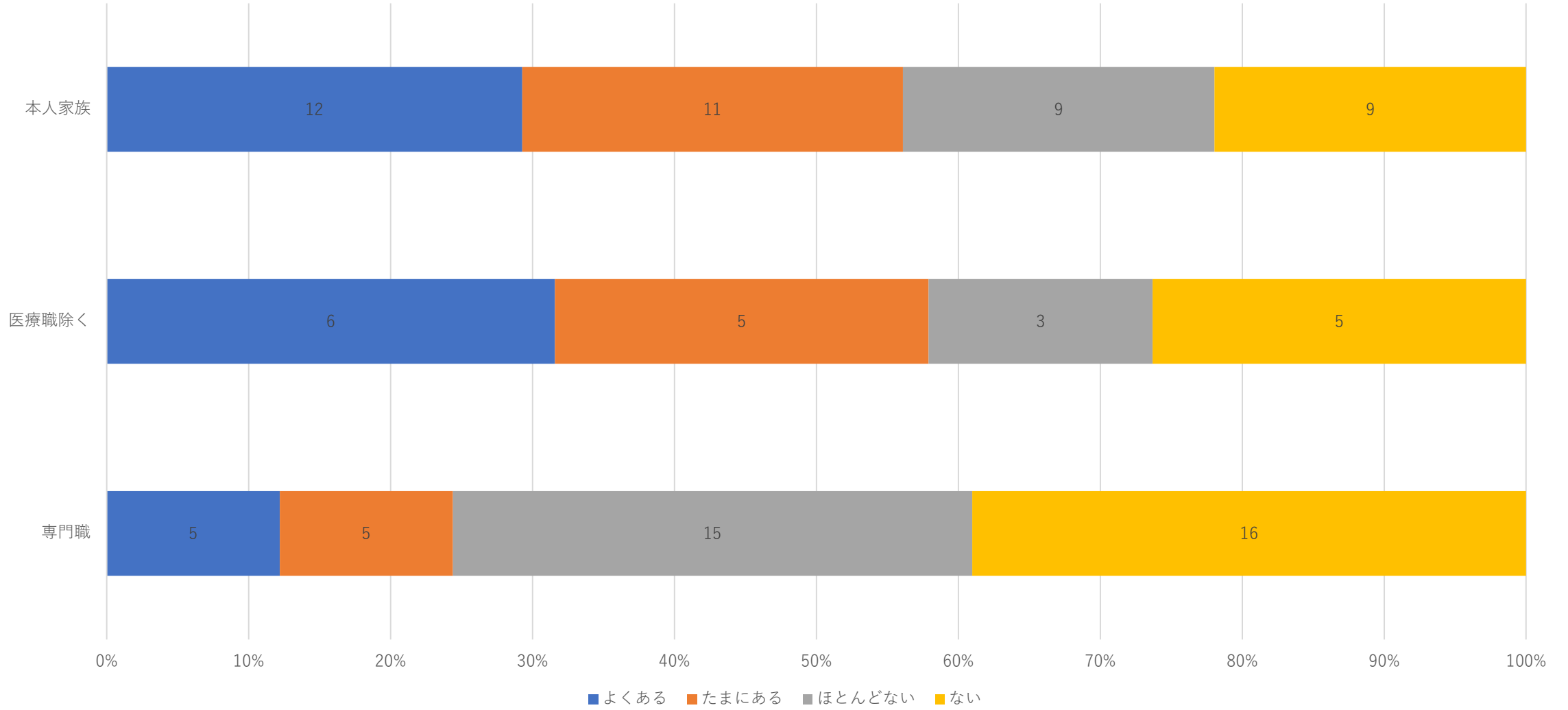
頓服薬を飲んでもらっていいのかわからない



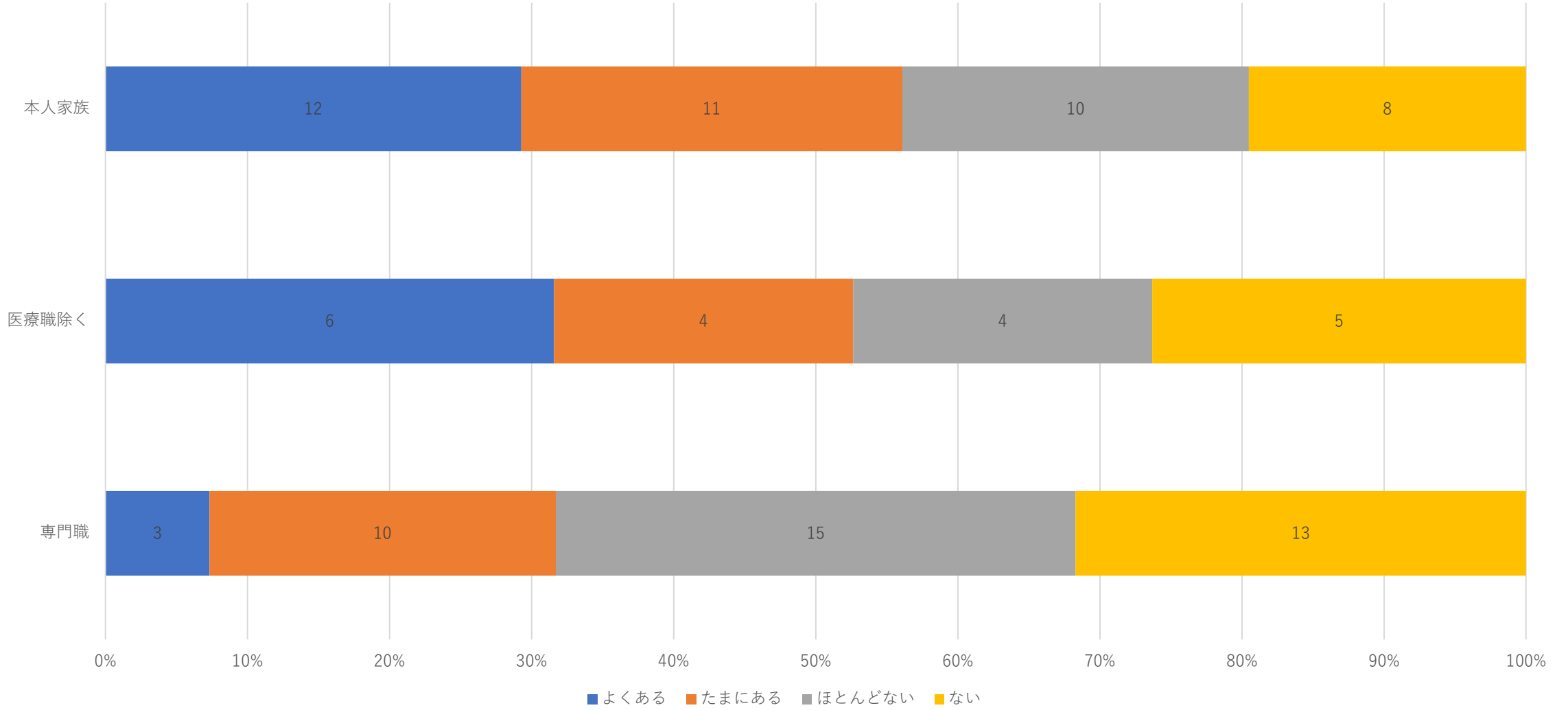
貼り薬がうまく貼れない・はがれてくる



座薬が入れにくい



目薬がうまく使えない



職種	所属	利用者様の薬で困ったこと
医師	診療所・歯科医院	服薬管理困難症例
医師	診療所・歯科医院	<p>訪問診療のため訪問薬剤管理指導をお願いすることがあり、主にその際に困っている点を以下、お汲み取りいただきましたら幸いです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薬局により、また薬剤師さんにより、訪問診療に対するご理解、ご協力度合いに非常に差が大きいです。訪問薬剤管理指導を利用の場合、患者さんのお家をまわりながらインターネットFAXで処方箋の写しを送り、原本は患者様宅でお渡しして帰ります。患者様のご家族が処方箋を薬局に持ち込まれる場合は、当院からFAXはせず、原本を患者様宅でお渡しして帰ります。疑義照会は訪問診療で持ち歩いている携帯電話に連絡をいただくよう案内しています。処方内容の修正、日数・回数などについて電話で柔軟に対応して下さる薬局も少なからずあり、非常にありがたい、訪問薬剤管理指導のご希望が患者様からあれば、積極的に紹介・連携させていただいています。一方で、わずかな文言の修正でも原本の再提出、あるいは預かった原本に修正印を押しに来るよう指示いただく薬局もあり、極端な場合は、それが済むまで患者様に薬をお渡ししないという薬局もあります。全国にチェーン店を展開されている薬局などが、当院に訪問薬剤管理指導での連携のため、わざわざご来訪いただくこともあり、たいへんありがたいのですが、実際に個別の店舗にご依頼すると、決して協力的とは言えないこともあり、本部・上層部と現場のギャップを感じます。個人事業として営業されている薬局でも、薬剤師の方によりご対応に差があったり事務の方のご対応が非協力的なことがあります。 ・患者様、ご家族に薬の副作用の説明をしっかりとされた結果、やっと内服を承諾して下さった薬を結局内服して下さらなかったことがあります。説明は薬局として当然の責務ですが、薬が好きな方ばかりではなく、ひとつの薬の内服を了解していただくまで、どれほど対話を重ね、タイミングを見計らって処方しているかを是非ともお汲み取りいただきたいです。 ・まれにですが、当院が指示していない用法や用量で患者さんに内服の頓用や外用薬について勧めてしまう薬剤師の方がおられます。患者様やご家族の困りごとに寄り添っていただくのはとても素晴らしいことですが、有害事象が起きた際の責任を誰が負うのかを決してお忘れにならず、提案をなさる前に当院にまずご相談をお願いしたいです。

職種	所属	利用者様の薬で困ったこと
介護士・介護職員	通所介護	施設で預かっている薬情報を常に最新のものにしておくことが難しい
介護士・介護職員	居宅介護支援事業所	利用者さんのお薬をもらうために薬局に行く機会が多いのですが薬が足りないと度々言われます。今までこんな事無かったように思いますが、なぜここまで薬が不足しているのか消費者には分かりません。薬を引き取りに何度も何度も薬局に足を運んでいて、その時間もガソリン代も余計にかかって非常に危惧しております。
介護支援専門員	居宅介護支援事業所	管理が不十分で服用できていない。 服用回数が多くサポートしきれない。
介護支援専門員	居宅介護支援事業所	複数回に分かれると飲み忘れが多いが、回数が減らせないことがある。
介護支援専門員	居宅介護支援事業所	複数のクリニックにかかり、複数の調剤薬局から薬が処方されており、自身で管理ができなくなった。調剤薬局にも相談したが、本人が薬局を一つにすることや、薬の一包化を拒み、結局、自身で薬の管理ができず、2週に1回訪問し、薬をセットしないといけなかった。 困りごとでは、ありませんが、薬剤師さんの対応で、とても助かっているケースがありお伝えさせていただきます。薬剤師さんの訪問で、薬の説明や注意点、本人の薬管理の方法、次回の受診日の目安を本人に伝えてくれたり、報告書も詳細な内容で、とても助かっています。
介護支援専門員	地域包括支援センター	利用者様が自己判断で服薬調整したり、思い込みなどで処方に対して不満を持ち受診をやめてしまう
介護支援専門員	小規模多機能型居宅介護	2カ所の病院から同じ薬が処方されていることがあった。
介護支援専門員	居宅介護支援事業所	利用者の判断で飲んだり飲まなかったりしている。残薬を破棄していることを聞いた入りする。

職種	所属	利用者様の薬で困ったこと
看護師	訪問看護、訪問リハビリテーション	認知のある方分3服薬等困難で他者の目で確認できるのが1日1回のみ。主治医に相談したが処方内容変更なく、結局服薬できていない。
看護師	訪問看護、訪問リハビリテーション	同じ薬を複数の医院から処方されていた事があり、コントロールが難しかった。
看護師	地域包括支援センター	認知症の方への服薬指導 服薬支援
看護師	認知症初期集中支援チーム	量が多く本当に必要なのかと思うことがある。
看護師	訪問看護、訪問リハビリテーション	認知症で、うまく飲めてない。セットしてもばらばらにしてしまう
看護師	訪問看護、訪問リハビリテーション	薬自体へのネガティブなイメージから、自己調整する 薬カレンダーにセットしても、残薬がある 認知症の方が二重服薬しないか心配
看護師	訪問看護、訪問リハビリテーション	一包化になっている薬のどの薬がどれか？
看護師	訪問看護、訪問リハビリテーション	なぜ処方されているのか理解できていないこと
看護師	訪問看護、訪問リハビリテーション	独居や老老介護での内服管理はかなりきびしい。 一番多いのは、飲み忘れ。飲みすぎ。 お薬カレンダーの薬を触ってしまう。 曜日、日時がわからないためにカレンダーの意味がなくなる。 分3、分4とお薬の内服回数が多い。 食前、食後と別れて内服依頼がある 吸入の扱い方、施行指導が難しい。息を吸えない。うがいが出来ない。 一包化できず、シートで持参している。 科ごとに内服処方あるが、重複していることが多い。

職種	所属	利用者様の薬で困ったこと
看護師	訪問看護、訪問リハビリテーション	服薬変更の情報が得にくい 頓服薬や外用薬がたくさん余っている 自己管理の場合の服薬確認ができない 担当者がわからず問い合わせがしにくい
看護師	訪問看護、訪問リハビリテーション	ご自身で管理ができない
看護師	訪問看護、訪問リハビリテーション	利用者さんの痛みが強いとの電話で、医師が薬を増量して処方されてましたが、実はその前の薬をしっかり飲んでなかった事が訪問してわかった事があります。
看護師	地域包括支援センター	残薬が多い 忘れて飲まないのではなくわかってて 本人が必要ないと考えて飲まない 主治医に言えというが 言わない
看護師	診療所・歯科医院	これまでは内服薬を確認することで、基礎疾患を把握していましたが、最近、メディカルダイエットと称して糖尿病薬を内服されている方がいます。そのような言葉を知らなかったので、対応に困りました。
看護師	訪問看護、訪問リハビリテーション	きっちり飲んでいるかが不明
歯科医師	診療所・歯科医院	飲み合わせが心配な事があった
相談員・ソーシャルワーカー	施設系サービス（入所）	精神科の薬の調整を薬剤師さんに相談できたらと思います。
相談員・ソーシャルワーカー	通所介護	お薬手帳の内容と家族の意向が異なる場合がある。家族によく確認して、なるべく意向に沿うようにしているが、ジレンマがある。